



ハードウェア ガイド

HP Compaq ノートブック シリーズ

製品番号 : 333644-291

2003年8月

このガイドでは、外付けデバイスのコネクタを含む、ノートブック コンピュータのハードウェア機能を確認および使用方法について説明します。また、コンピュータを持ち運ぶ際に役立つ電力および環境要件についても説明します。

© 2003 Hewlett-Packard Development Company, L.P.

MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

IntelおよびSpeedStepは、米国Intel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

SDロゴは商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。HP製品およびサービスに対する保証は、当該製品およびサービスに付属の保証規定に明示的に記載されているものに限られます。**本書のいかなる内容も、当該保証に新たに保証を追加するものではありません。**本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

本書に記載されている製品情報は、日本国内で販売されていないものも含まれている場合があります。

以下の記号は、本文中で安全上重要な注意事項を示します。



警告：その指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがあるという警告事項を表します。



注意：その指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがあるという注意事項を表します。

ハードウェア ガイド
HP Compaq ノートブック シリーズ
初版 2003年8月
参照番号：nc6000
製品番号：333644-291

日本ヒューレット・パッカード株式会社

目次

1 ノートブック コンピュータの外観

ポインティング デバイスの各部	1-1
タッチパッド搭載モデル	1-1
デュアル ポインティング デバイス モデル	1-2
表面の各部	1-3
ランプ	1-5
左側面の各部	1-7
右側面の各部	1-8
前面の各部	1-9
背面の各部	1-10
裏面の各部	1-12
ラベル	1-14

2 ポインティング デバイスとキーボード

ポインティング デバイスの操作	2-1
ポインティング スティックの操作	2-2
タッチパッドの使用	2-2
外付けマウスの使用	2-3
ポインティング デバイス機能のカスタマイズ	2-3
ホットキーとショートカット キーの使用	2-4
[fn] キーとファンクション キーの位置	2-4
ホットキーとショートカット キーの クイック リファレンス	2-5
スタンバイの起動 ([fn] + [f3])	2-5
表示画面の切り替え ([fn] + [f4])	2-6
バッテリー充電情報の表示 ([fn] + [f8])	2-7
輝度を下げる ([fn] + [f9])	2-7
輝度を上げる ([fn] + [f10])	2-7
システム情報の表示 ([fn] + [esc])	2-7
外付けキーボードでのホットキーとショートカット キーの 使用	2-7

Quick Launch Buttons の使用	2-8
テンキーの使用	2-9
内蔵テンキーの使用	2-9
外付けテンキーの使用	2-11

3 バッテリー パック

バッテリー電源でのノートブック コンピュータの実行	3-1
バッテリー パックの確認	3-2
メインバッテリー パックの装着と取り出し	3-3
マルチベイ バッテリー パックの装着と取り出し	3-4
バッテリー パックの充電	3-6
新しいバッテリー パックの充電	3-7
使用中のバッテリー パックの充電	3-7
メインバッテリー パックおよび マルチベイ バッテリー パックの充電	3-7
バッテリー パックの充電の監視	3-8
正確なバッテリー残量の表示	3-8
充電情報画面の表示	3-8
マルチベイ バッテリー パックでの充電情報の表示	3-10
ローバッテリー状態の対処	3-11
ローバッテリー状態の識別	3-11
ローバッテリー状態の解決	3-12
バッテリー ゲージの調整	3-13
バッテリー ゲージの調整が必要な時	3-13
バッテリー 節電の方法と設定	3-17
作業中の節電	3-17
節電の設定	3-18
バッテリー パックの保管	3-19
使用済みのバッテリー パックの処理	3-20
電源に関する詳細情報の参照先	3-20

4	ドライブ	
	ドライブの取り扱い上の注意	4-1
	システムへのドライブの追加	4-3
	ハードドライブ	4-4
	ハードドライブ動作ランプについて	4-4
	メインハードドライブの交換	4-5
	マルチベイドライブ	4-8
	マルチベイ動作ランプについて	4-8
	マルチベイハードドライブアダプタの使用	4-8
	マルチベイへのドライブの挿入	4-11
	マルチベイからのドライブの取り外し	4-12
	マルチベイドライブメディア	4-14
	オプティカルディスクの挿入	4-14
	オプティカルディスクの取り出し（電源使用時）	4-15
	オプティカルディスクの取り出し（電源切断時）	4-16
	フロッピーディスクの挿入	4-17
	フロッピーディスクの取り出し	4-17
	オプティカルディスクの内容の表示	4-17
	オプティカルディスクソフトウェアの参照先	4-18
	スタンバイまたはハイバネーションの起動	4-18
5	オーディオとビデオ	
	オーディオ機能の使用	5-1
	オーディオラインアウトコネクタの使用	5-2
	マイクコネクタの使用	5-3
	音量の調整	5-3
	ビデオ機能の使用	5-4
	Sビデオコネクタの使用	5-5
6	通信デバイス	
	モデムケーブルの接続	6-1
	RJ-11回線用ケーブルの使用	6-2
	各国仕様のモデムアダプタケーブルの使用	6-3
	ネットワークケーブルの接続	6-4
	赤外線装置の接続	6-5
	赤外線転送の設定	6-6
	赤外線転送中のスタンバイの使用	6-6

7 外付けデバイス	
モニタまたはプロジェクタの接続	7-2
USB デバイスの使用	7-3
USB レガシー サポートの有効化	7-4
別売の外付けマルチベイの接続	7-5
別売のケーブルロックの接続	7-6
8 ハードウェアのアップグレード	
PC カードの使用	8-1
PC カードの挿入	8-2
PC カードの取り出し	8-3
SD カードの使用	8-4
SD カードの挿入	8-4
SD カードの取り出し	8-5
メモリ モジュールの追加とアップグレード	8-6
メモリ増設の影響	8-11
9 仕様	
ノートブック コンピュータの本体寸法	9-1
作業環境	9-1
定格入力電源	9-2
モデムの仕様	9-2

索引

ノートブック コンピュータの外観

ポインティング デバイスの各部

タッチパッド搭載モデル



タッチパッドの各部の説明

番号	名称	機能
①	タッチパッド	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロール、選択、ダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
②	左右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します

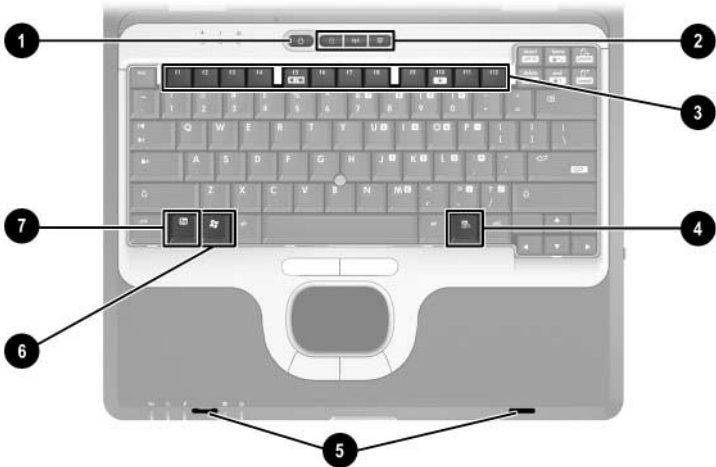
デュアル ポインティング デバイス モデル



デュアル ポインティング デバイスの各部の説明

番号	名称	機能
①	ポインティング スティック	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
②	左右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します
③	タッチパッド	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロール、選択、ダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
④	左右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します

表面の各部




表面の各部の説明

番号	名称	機能
①	電源ボタン*	<p>ノートブック コンピュータの状態によって次のように機能します</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ノートブック コンピュータの電源が切れているときに押して離すと、電源が入ります ■ スタンバイ状態のときに押して離すと、スタンバイが終了します ■ ハイバネーション状態のときに押して離すと、ハイバネーションが終了します <p>システムが応答せず、Windows®のシャットダウン手順を実行できないときは、4秒間程度ボタンを押したままにすると、ノートブック コンピュータの電源が切れます</p>

*この表ではデフォルト設定について説明しています。電源ボタンの機能を変更する方法およびスタンバイとハイバネーションの使い方については、Documentation Library CD（ドキュメンテーションライブラリCD）に収録されている『ソフトウェアガイド』の「電源」を参照してください。

表面の各部の説明（続き）


番号	名称	機能
②	Quick Launch Buttons (クイック ローンチ ボタン) (×3)	<p>1回ボタンを押すだけで、一般的な機能にアクセスできます</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ QuickLock Button (クイックロック ボタン) (左): キーボードとポインティング デバイスを無効にし、画面を消去します ■ Wireless On/Off Button (無線オン/オフ ボタン) (中央): ノートブック コンピュータの無線デバイスを有効または無効にします ■ Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン) (右): プレゼンテーション モード間の機能を切り替えます <p> Wireless On/Off Buttonを使用して無線 LAN または Bluetooth を有効にする場合は、無線 LAN または Bluetooth がソフトウェアで有効にされており、無線オン/オフランプが点灯していることを確認してから接続を行ってください</p> <p>詳しくは、Documentation Library CD に収録されているこのガイドの第2章の「Quick Launch Buttonsの使用」を参照してください</p>
③	ファンクション キー	[fn]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
④	アプリケーション キー	マウス ポインタが指しているアイテムのショートカットメニューを表示します
⑤	ディスプレイ リリース ラッチ 固定ホール	ディスプレイが閉じているときに、ホールでディスプレイを固定します
⑥	Windows ロゴ キー	Windows の[スタート]メニューを表示します
⑦	[fn]キー	ファンクション キーまたは[esc]キーと組み合わせて押すことによって、頻繁に使うシステムの機能を実行します
図になし	メモリ コンパートメント (図に示されていません。キーボードの下にあります)	メイン メモリ スロットおよび拡張スロットが1基ずつ付属しています (メイン メモリ スロットには、メモリがあらかじめ装着されています)

ランプ



ランプの説明

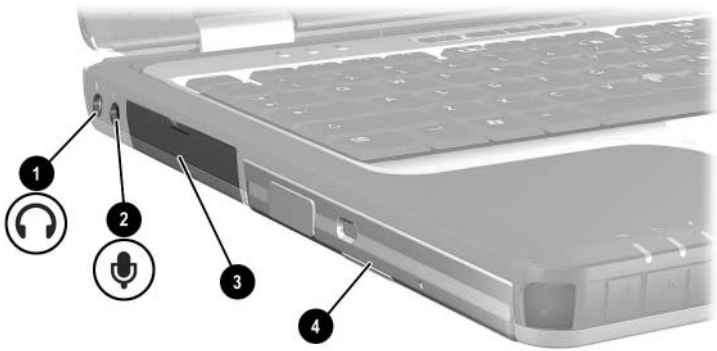
番号	名称	機能
①	Num Lockランプ	Num Lockがオンのときまたは内蔵テンキーが使用可能なときに点灯します
②	Caps Lockランプ	Caps Lockがオンのときに点灯します
③	Scroll Lockランプ	Scroll Lockがオンのときに点灯します
④	無線オン/オフ ランプ	無線デバイスが使用可能なときに点灯します
⑤	電源/スタンバイ ランプ	電源投入時に点灯します ノートブック コンピュータがスタンバイ状態のときに点滅します


 電源としてバッテリー パックを1つだけ使用している場合は、完全なローバッテリー状態になったときにも電源/スタンバイ ランプが点滅します。ノートブック コンピュータがハイバネーション状態になるかシャットダウンすると、ランプが消灯します

ランプの説明（続き）

番号	名称	機能
⑥	バッテリー ランプ	バッテリー パックの充電中に点灯します 電源にバッテリー パックのみを使用している場合、ローバッテリー状態になったときに点滅します。完全なローバッテリー状態になると、バッテリー ランプがすばやく点滅し始めます
⑦	メイン ハードドライブ ランプ	ハードドライブ ベイ内のハードドライブにアクセスしているときに点灯します
⑧	マルチベイ ランプ	マルチベイ内のドライブにアクセスしているときに点灯します

左側面の各部






左側面の各部の説明

番号	名称	機能
①	オーディオ ラインアウト コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続したときに、システムのサウンドを出力します
②	マイク コネクタ	別売のモノラル マイクを接続します
③	ハードドライブ ベイ	メイン ハードドライブを装着します
④	マルチベイ	マルチベイ デバイスを装着します

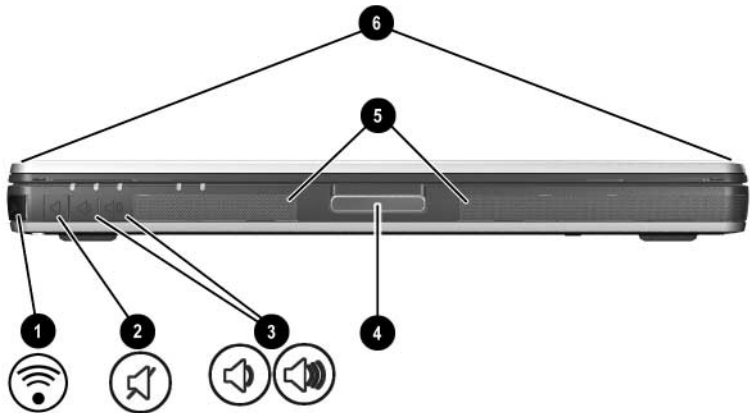
右側面の各部



右側面の各部の説明

番号	名称	機能
①	バッテリー スロット	メインバッテリーを装着します
②	SD (Secure Digital) スロット	SDメモリ カードを装着します
③	PCカード スロット (×2)	別売のType I、Type II、およびType IIIの32ビット (CardBus) PCカード、および16ビットのPCカードに対応しています  一部のノートブック コンピュータでは、上側のPCカード スロットを工場出荷時に取り付けられているスマート カードリーダーと交換することができます
④	RJ-11コネクタ	モデム ケーブルを接続します
⑤	Bluetoothコンパートメント	Bluetoothデバイスを装着します  国によっては Bluetooth を使用できない場合があります
⑥	セキュリティロック ケーブル用スロット	別売のセキュリティ ロック ケーブルでノートブック コンピュータを固定物に接続することによって、盗難を防止します  注意：セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としています。ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません

前面の各部



前面の各部の説明

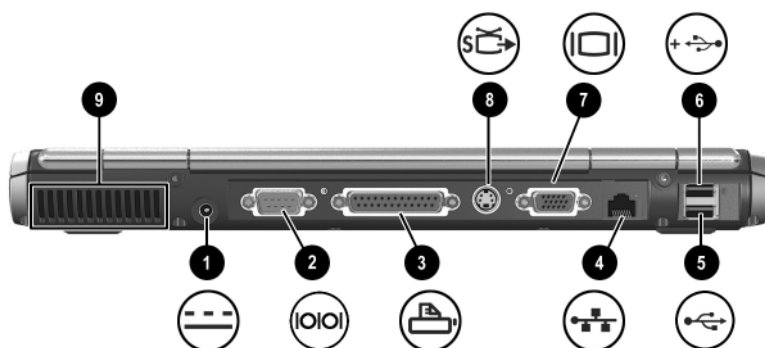
番号	名称	機能
①	赤外線ポート	別売のIrDA互換デバイスとの間で無線通信を行います
②	ミュート ボタン	ボタンを押すと、システムの音量を消音(ミュート)します。ボタンが押されて音量が消音されると、ランプが点灯します
③	音量調節ボタン	システム警告音の音量を上げたり下げたりします。音量上げボタンを押すと音量が上がり、音量下げボタンを押すと音量が下がります
④	ディスプレイ リリース ラッチ	ノートブック コンピュータを開けるときにスライドさせます
⑤	スピーカ (×2)	システムのサウンドを出力します
⑥	無線アンテナ (×2)	無線データ通信を行います (外からは見えません。ディスプレイの両側にあります)



警告：無線周波放射を浴びる場合

電波産業会 (ARIB、<http://www.arib.or.jp>) の電波防護標準規格 (RCR STD-38) によれば、人体に許容できる電力密度は、2.4 GHz帯で、1 mW/cm²とされています。弊社の無線LAN製品では、ノートブック コンピュータのディスプレイを閉じた場合を含めて、アンテナから20 cm離れた場所で約0.0063 mW/cm²程度で、問題のないレベルとなっています。ただし、ペースメーカーや医療機器、航空機の計器類には、携帯電話やPHS同様、障害を与える恐れがありますので、携帯電話やPHS等と同様の使用ルールに従うようにしてください。

背面の各部



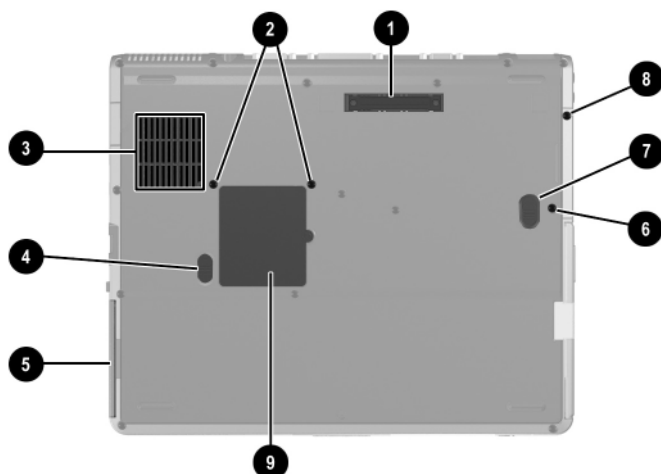
背面の各部の説明

番号	名称	機能
①	電源コネクタ	ACアダプタまたは別売のカー アダプタ/チャージャを接続します
②	シリアル コネクタ	別売のシリアル デバイスを接続します
③	パラレル コネクタ	外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ用ケーブルやプリンタ用ケーブルなどの別売のパラレル デバイスを接続します
④	RJ-45ネットワーク コネクタ	ネットワーク ケーブルを接続します
⑤	USBコネクタ	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブック コンピュータに接続します
⑥	電源供給機能付きUSBコネクタ	標準USBケーブルを使用して、USB 1.1および2.0対応デバイスをノートブック コンピュータに接続します。または、外付けマルチベイ電源供給機能付きUSBケーブルを使用して、別売の外付けマルチベイをコンピュータに接続します
⑦	外付けモニタ コネクタ	別売の外付けモニタやオーバーヘッド プロジェクタを接続します
⑧	Sビデオ コネクタ	テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、オーバーヘッド プロジェクタ (OHP)、ビデオ キャプチャ カードなどの別売のSビデオ機器を接続します

背面の各部の説明（続き）

番号	名称	機能
⑨	排気孔	<p>コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します</p> <p>△ 注意: コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすると、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください</p>


裏面の各部



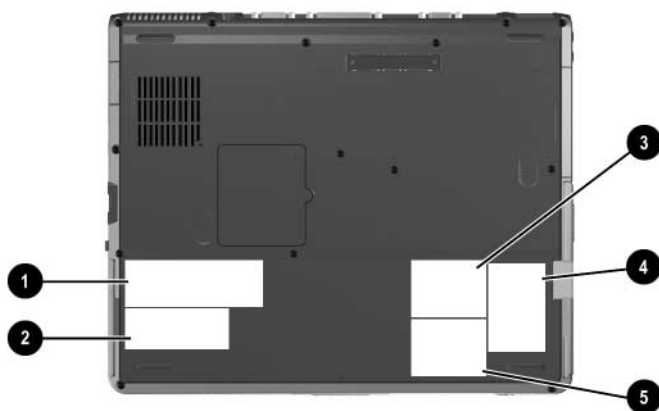
裏面の各部の説明

番号	名称	機能
①	ドッキング コネクタ	ノートブック コンピュータを別売のポート リブリケータまたはアドバンスト ポート リブリケータに接続します
②	キーボード固定ネジ (×2)	ネジを外すと、キーボードを取り外してシステム メモリにアクセスできます
③	吸気孔	コンピュータ内部の温度が上がりすぎないように空気を通します △ 注意: コンピュータの温度が上がりすぎると、システムが予期しないタイミングで停止する場合があります。通気孔はふさがないように注意してください。枕や毛布のように柔らかい物の上でコンピュータを使用したりすると、空気の流れを妨げる原因となりますのでお止めください
④	バッテリー リリース ラッチ	バッテリー ベイからメイン バッテリー パックを取り出すときに使用します
⑤	バッテリー ベイ	メイン バッテリー パックを装着します
⑥	ハードドライブ 保護ネジ	ハードドライブを保護します
⑦	マルチベイ リリース ラッチ	マルチベイを取り外すときに使用します



裏面の各部の説明（続き）

番号	名称	機能
⑧	ハードドライブ固定ネジ	ハードドライブを固定します
⑨	ミニPCIコンパートメント	別売の無線LAN（WLAN）またはISDNデバイスを装着します  注意: ノートブック コンピュータでのミニPCIデバイスの不正な使用は、FCC（連邦通信委員会）によって禁止されています。サポートされていないミニPCIデバイスを取り付けるとコンピュータが正しく動作せず、警告メッセージが表示されることがあります。コンピュータを正しく動作させるには、サポートされていないデバイスを取り外してください。お使いのミニPCIデバイスに関する警告メッセージが表示された場合は、HPのサポート窓口までご連絡ください




ラベル



ラベルの説明

番号	名称	機能
①	システム ラベル	<p>ノートブック コンピュータの規定に関する情報が記載されています</p> <p> システム ラベルに記載されているシリアル番号は、ノートブック コンピュータの識別番号です。この番号は、サポート窓口に連絡する際に必要になります</p>
②	COA (Certificate of Authenticity) ラベル	<p>プロダクト キー (Product Key、Product ID) が記されています。この番号は、オペレーティング システムをアップデートまたは修復するときに必要になる場合があります</p>
③	無線LANラベル	<p>一部のノートブック コンピュータ モデルで使用可能な無線LANデバイスの規定に関する情報が記載されています</p> <p> 旅行中など国外で無線 LAN デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります</p>

ラベルの説明（続き）

番号	名称	機能
④	モデム ラベル	モデムの使用が認可されている国名の一覧が記載されています  旅行中など国外でモデムを使用する場合に、この情報が必要になる場合があります
⑤	Bluetoothラベル	一部のノートブック コンピュータ モデルで使用可能なBluetoothデバイスの規定に関する情報が記載されています  旅行中など国外で Bluetooth デバイスを使用するときに、この情報が必要になる場合があります  国によっては Bluetooth を使用できない場合があります

ポインティング デバイスとキーボード

ポインティング デバイスの操作

デフォルトの設定では、ポインティング スティックとタッチパッドはどちらも区別なく使えます。



ポインティング デバイスの説明

番号	名称	機能
①	ポインティング スティック	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします
②	左右のポインティング スティック ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します
③	タッチパッド	ポインタを移動したり、画面上のアイテムを選択または実行したりします。スクロールおよびダブルクリックなど、その他のマウス機能も実行するように設定できます
④	左右のタッチパッド ボタン	外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します

ポインティング スティックの操作

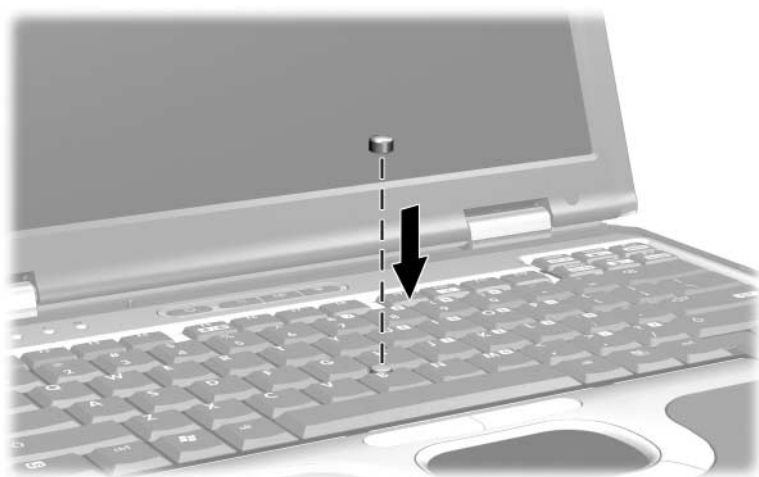
ポインタを移動するには、ポインティング スティックを移動したい方向に向かって押しつけます。ポインティング スティックの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

ポインティング スティックのキャップを交換するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
2. ポインティング スティックの古くなったキャップをゆっくりと引き抜きます。
3. 新しいキャップを取り付けます。



交換用キャップは、ノートブック コンピュータには付属していません。



タッチパッドの使用

ポインタを移動するには、タッチパッドの表面でポインタを移動したい方向に指を動かします。タッチパッドの左ボタンと右ボタンは、外付けマウスの左右のボタンと同様に機能します。

外付けマウスの使用

外付けUSBマウスは、背面のコネクタのどれかを使用してノートブックコンピュータに接続できます。外付けPS/2マウスまたはUSBマウスは、別売のポート リプリケータのコネクタを使用して、システムに接続することができます。

ポインティング デバイス機能のカスタマイズ

Windowsの[マウスのプロパティ]を使用して、次のようにポインティング デバイスの設定をカスタマイズできます。

- ポインティング デバイスを有効または無効に設定します (デフォルトで有効に設定されています)。
- タッチパッドのタップ。タッチパッドを1回タップするとオブジェクトを選択し、2回タップするとオブジェクトをダブルクリックするように設定できます (デフォルトで無効に設定されています)。
- エッジ モーション。指がタッチパッドの端まできてもスクロールし続けるように設定できます (デフォルトで無効に設定されています)。
- パーム チェック。入力中にタッチパッドに手が触れても、カーソルが意図せず移動しないように設定できます (デフォルトで無効に設定されています)。

マウスの速度や軌跡などの機能も[マウスのプロパティ]ウィンドウで設定できます。

[マウスのプロパティ]にアクセスするには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[マウス]アイコンの順に選択します。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[プリンタとその他のハードウェア]→[マウス]アイコンの順に選択します。

ホットキーとショートカット キーの使用

ホットキーおよびショートカット キーは、特定のシステム機能にアクセスまたは実行するためにあらかじめ設定されているキーの組み合わせのことで、[fn]キーとファンクション キーを使用します。

[fn]キーとファンクション キーの位置



番号	名称
①	[fn]キー
②	ファンクション キー

- ホットキーは[fn]キーとファンクション キーの組み合わせです。お使いのノートブック コンピュータで利用できるホットキーの機能は、ファンクション キーの上にアイコンで示されています。
- ショートカット キーは、[fn]キーとファンクション キー以外のキーの組み合わせです。

ホットキーとショートカット キーのクイック リファレンス

機能	機能をアクティブにする キーの組み合わせ	機能を非アクティブにする キーの組み合わせ
スタンバイの起動	[fn]+[f3]	電源ボタンを押す
ノートブック コンピュータの ディスプレイと外付けディス プレイの画面の切り替え	[fn]+[f4]	[fn]+[f4]
バッテリー情報の表示	[fn]+[f8]	[fn]+[f8]
画面の輝度を下げる	[fn]+[f9]	なし
画面の輝度を上げる	[fn]+[f10]	なし
システム情報の表示	[fn]+[esc]	[fn]+[esc]

スタンバイの起動 ([fn]+[f3])

- ノートブック コンピュータの電源が入っているときに [fn] + [f3] ホットキーを押すと、スタンバイが起動します。スタンバイが起動すると、作業中のファイルがランダム アクセス メモリ (RAM) に保存され、画面が消えて、節電モードになります。コンピュータがスタンバイ状態のときは、電源/スタンバイランプが点滅します。
- スタンバイを終了するには、電源ボタンを短く押します。

[fn] + [f3] ホットキーは、スタンバイを起動するように出荷時に設定されています。

[fn] + [f3] ホットキーの機能 (Windows では「スリープ ボタン」と呼ばれます) は、変更することができます。たとえば、[fn] + [f3] ホットキーを押すと、スタンバイではなくハイバネーションが起動するように設定できます。スタンバイ、ハイバネーション、および [fn] + [f3] ホットキーの機能の変更方法について詳しくは、Documentation Library CD に収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

表示画面の切り替え ([fn]+[f4])

[fn]+[f4]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータの外付けモニター コネクタとSビデオ コネクタに接続されているディスプレイ デバイスの間で表示画面を切り替えることができます。たとえば、コンピュータに外付けモニタを接続している場合は、[fn]+[f4]ホットキーを複数回押すと、コンピュータ本体のディスプレイ、外付けモニタのディスプレイ、コンピュータ本体とモニタの両方のディスプレイのどれかに表示画面が切り替わります。

ほとんどの外付けモニタは、外部VGAビデオ方式を使ってノートブック コンピュータからビデオ情報を受け取ります。[fn]+[f4]ホットキーでは、外部VGA以外の方式を使用するデバイスとの間でも表示画面を切り替えることができます。

次の5つのビデオ伝送方式が[fn]+[f4]ホットキーでサポートされます。かっこ内は、各方式を使用するデバイスの例です。

- LCD (ノートブック コンピュータ本体のディスプレイ)
- 外部VGA (ほとんどの外付けモニタ)
- Sビデオ (Sビデオイン コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオキャプチャボード)
- コンポジット ビデオ (コンポジット ビデオイン コネクタが装備されているテレビ、ビデオカメラ、ビデオデッキ、およびビデオキャプチャボード) (別売のポート リプリケータ接続時)
- DVI-D (DVI-Dインタフェースをサポートする外付けモニタ)



コンポジット ビデオ機器およびDVI-Dは、ノートブック コンピュータが別売のアドバンスド ポート リプリケータに接続されている場合にのみ、コンピュータに接続できます。

バッテリー充電情報の表示 ([fn]+[f8])

[fn]+[f8]ホットキーを押すと、ノートブック コンピュータに取り付けられているすべてのバッテリー パックの充電情報が表示されます。この表示から、充電中のバッテリー パックと、各バッテリー パックの残量が確認できます。

バッテリー パックの位置は、次の番号で表示されます。

- #1はメイン バッテリー パックです。
- #2はマルチベイ バッテリー パックです。

輝度を下げる ([fn]+[f9])

[fn]+[f9]ホットキーを押すと、画面の輝度を下げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが増分します。

輝度を上げる ([fn]+[f10])

[fn]+[f10]ホットキーを押すと、画面の輝度を上げることができます。ホットキーを押したままにすると、輝度のレベルが増分します。

システム情報の表示 ([fn]+[esc])

[fn]+[esc]ホットキーを押すと、システムのハードウェア コンポーネントやソフトウェアのバージョン番号に関する情報が表示されます。[fn]+[esc]ホットキーをもう1回押すと、システム情報が画面から消えます。



システムBIOSの日付はシステムROMのバージョン番号です。BIOSの日付は10/19/2002 F.07などの10進数形式で表示される場合があります。

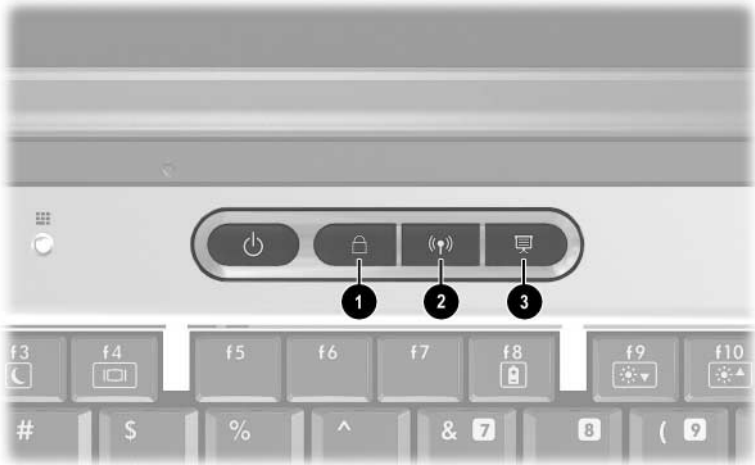
外付けキーボードでのホットキーとショートカット キーの使用

以下の表に、一部のホットキーとショートカット キーを外付けキーボードで使う方法を示します。

ノートブック コンピュータのキー	外付けキーボードのキー
[fn]+[esc]	[scroll lock]+[scroll lock]+[esc]
[fn]+[f8]	[scroll lock]+[scroll lock]+[f8]

Quick Launch Buttonsの使用

3つのQuick Launch Buttons (クイック ローンチ ボタン) を使うと、1回ボタンを押すだけで、一般的な機能を実行できます。



Quick Launch buttons

番号	名称	機能
①	QuickLock Button (クイックロック ボタン)	キーボードとポインティング デバイスを無効にし、画面を消去します。QuickLockを使用する前にパスワードを設定し、機能のカスタマイズを行う必要があります。詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「セキュリティ」を参照してください
②	Wireless On/Off Button (無線オン/オフ ボタン)	無線LANデバイスおよび別売のBluetoothデバイスがソフトウェア ユーティリティ内で有効になっている場合に、これらのデバイスでの電源をオンまたはオフにします
③	Presentation Mode Button (プレゼンテーション モード ボタン)	ノートブック コンピュータをプレゼンテーションモードに設定します。プレゼンテーションモードでは、ユーザが定義したアプリケーション、フォルダ、ファイル、またはWebサイトが開きます。画像は、コンピュータ本体のディスプレイと同時に、コンピュータまたは別売のポート リプリケータに接続された外付けデバイスに表示されます

テンキーの使用

お使いのノートブック コンピュータには、テンキーが内蔵されています。また、別売の外付けテンキーや、テンキーを備えた別売の外付けキーボードも使用できます。

内蔵テンキーの使用

15個の内蔵テンキーは外付けテンキーと同じように使用できます。内蔵テンキーが有効のときは、テンキーを押すと、そのキーの右上隅にあるアイコンで示された機能が実行されます。



内蔵テンキーの各部

番号	名称
①	Num Lockランプ
②	[num lock]キー
③	内蔵テンキー
④	[fn]キー

内蔵テンキーの有効/無効の切り替え

内蔵テンキーを有効にするには、[fn]+[num lock]キーを押します。Num Lockランプが点灯します。[fn]+[num lock]キーをもう一度押すと、通常の文字入力機能に戻ります。



外付けキーボードやテンキーがノートブック コンピュータまたは別売のポート リプリケータに接続されている場合、内蔵テンキーは機能しません。

内蔵テンキーの機能の切り替え

[fn]キーまたは[fn]+[shift]キーを使って、内蔵テンキーの通常の文字入力機能とテンキー機能とを一時的に切り替えることができます。

- テンキーが無効のときに、テンキーの機能をテンキーの入力機能に変更するには、[fn]キーを押しながらテンキーを押します。
- テンキーが有効のときに、テンキーの文字入力機能を一時的に使用するには、次の操作を行います。
 - 小文字を入力するには、[fn]キーを押しながら文字を入力します。
 - 大文字を入力するには、[fn]+[shift]キーを押しながら文字を入力します。

外付けテンキーの使用

通常、外付けテンキーのほとんどのキーは、Num Lockモードがオンのときとオフのときとで機能が異なります。たとえば、次のようになります。

- Num Lockがオンのときは、数字を入力できます。
- Num Lockがオフのときは、矢印キー、[page up]キー、[page down]キーと同様に機能します。

外付けテンキーでNum Lockをオンにすると、ノートブック コンピュータのNum Lockランプが点灯します。外付けテンキーでNum Lockをオフにすると、コンピュータのNum Lockランプが消灯します。

外付けテンキーを接続している場合は、内蔵テンキーを使用することができません。

作業中のNum Lockモードの有効/無効の切り替え

作業中に外付けテンキーのNum Lockのオンとオフを切り替えるには、ノートブック コンピュータではなく、外付けテンキーの[num lock]キーを押します。

バッテリー パック

バッテリー電源でのノートブック コンピュータの 実行

AC電源に接続しているときは、ノートブック コンピュータはAC電源で動作します。

充電済みのバッテリー パックを装着し、外部電源に接続していないときは、ノートブック コンピュータはバッテリー電源で動作します。

ノートブック コンピュータでは、AC電源が利用できるかどうかによって、AC電源とバッテリー電源が自動的に切り替わります。たとえば、充電済みのバッテリー パックを装着し、ACアダプタを通して外部AC電源を使用しているときに、ACアダプタをコンピュータから取り外すと、バッテリー電源の使用に切り替わります。

バッテリー パックをノートブック コンピュータに装着しておくかどうかは、作業状況に応じて決めることができます。バッテリー パックを装着しておくことで、コンピュータを外部AC電源に接続している間にバッテリー パックを充電できます。また、停電があった場合でも作業中のファイルを守ることができます。

ただし、ノートブック コンピュータの電源が切れている間に、バッテリー パックは少しずつ放電します。このため、メインバッテリー パックはコンピュータに装着していない状態で出荷されます。コンピュータをバッテリー電源で動作させるには、バッテリーを装着してください。

2週間以上ノートブック コンピュータを使用しない場合は、バッテリーパックを取り出して保管すると、バッテリーパックの寿命を延ばすことができます。保管方法については、この章の「[バッテリーパックの保管](#)」を参照してください。しばらく作業を行わない場合の操作方法について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェアガイド』の「電源」を参照してください。



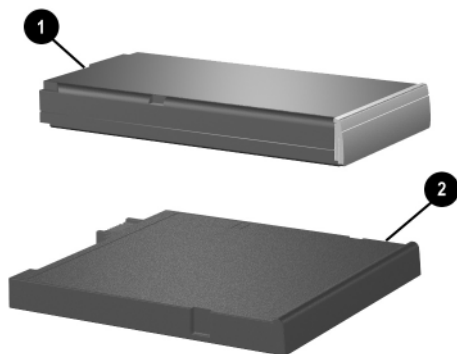
ACアダプタおよびバッテリーパックは、ノートブック コンピュータに対応しているものを使用する必要があります。詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/jp/>) を参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください。

バッテリーパックの確認

お使いのノートブック コンピュータには、バッテリーパックを2つまで装着できます。

- **メインバッテリーパック①**は、バッテリーベイでのみ使用可能なリチウムイオンバッテリーパックです。お使いのノートブック コンピュータには、メインバッテリーパック1個が装着されています。
- **マルチベイバッテリーパック②**は、マルチベイでのみ使用可能な別売のリチウムイオンバッテリーパックです。

マルチベイバッテリーパックのランプおよびボタンについては、この章の「[バッテリーパックの充電の監視](#)」を参照してください。



メインバッテリーパックの装着と取り出し



注意:1つのバッテリーパックのみをノートブックコンピュータの電源として使用しているときに、そのバッテリーパックを取り出す場合は、データの損失を防ぐため、ハイバネーションを起動するかコンピュータの電源を切ってから作業を行ってください。

バッテリーパックを装着するには、ノートブックコンピュータを裏返してバッテリーベイにバッテリーパックをスライドさせ、しっかりと収まるまで押し込みます。



バッテリーパックを取り出すには、ノートブックコンピュータを裏返して、バッテリーリリースラッチをスライドさせて押さえたまま①、バッテリーベイからバッテリーパックを抜き取ります②。



マルチベイ バッテリー パックの装着と取り出し

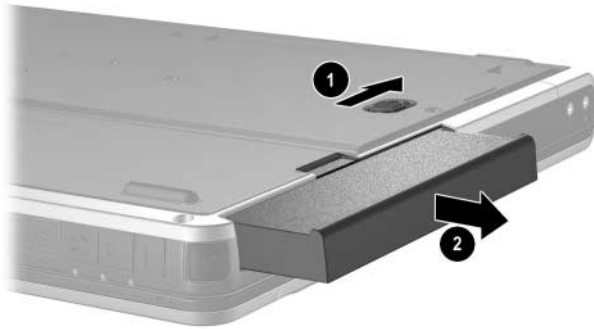


注意:1つのバッテリーパックのみをノートブックコンピュータの電源として使用しているときに、そのバッテリーパックを取り出す場合は、データの損失を防ぐため、ハイバネーションを起動するかコンピュータの電源を切ってから作業を行ってください。

マルチベイ バッテリー パックを装着するには、ノートブックコンピュータを裏返してマルチベイにバッテリーパックをスライドさせ、しっかりと収まるまで押し込みます。



マルチベイ バッテリー パックを取り出すには、ノートブック コンピュータを裏返して、マルチベイ リリース ラッチをスライドさせて押さえたまま①、マルチベイからバッテリー パックを抜き取ります②。



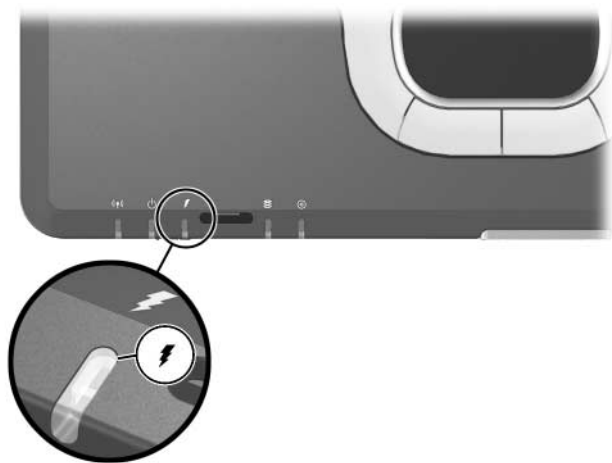
注意: マルチベイにデバイスが装着されていないときにマルチベイを保護するには、ウェイト セーバを取り付けて、マルチベイの損傷を防ぎます。ウェイト セーバはいつでも取り付けおよび取り外しができます。

バッテリーパックの充電

ノートブックコンピュータを外部電源に接続している間は、ACアダプタまたは別売のカーアダプタ/チャージャを通してコンピュータに装着されているバッテリーパックが常に充電されます。

バッテリーパックは、ノートブックコンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電されますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。バッテリーパックが新しいか2週間以上使用されていない場合、またはバッテリーパックの温度が室温よりも高すぎたり低すぎたりする場合、充電に時間がかかることがあります。

バッテリーパックの充電中は、ノートブックコンピュータのバッテリーランプが点灯します。システムに装着されているすべてのバッテリーパックの充電が完了すると、ランプが消灯します。



新しいバッテリー パックの充電

ACアダプタを使ってノートブック コンピュータを外部電源に接続し、バッテリー パックを完全に充電してください。

新しいバッテリー パックは、完全に充電されていない状態でも使用できますが、バッテリー残量の表示が不正確になることがあります。

使用中のバッテリー パックの充電

バッテリーの寿命を延ばし、バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、次の点に注意します。

- 通常の使用で完全充電時の10パーセント未満になるまでバッテリー パックを放電してから充電してください。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。

メイン バッテリー パックおよび マルチベイ バッテリー パックの充電

メインバッテリー パックがバッテリー ベイに装着され、マルチベイ バッテリー パックがマルチベイに装着されている場合、メイン バッテリー パックが先に充電され、マルチベイ バッテリー パックが先に放電されます。

バッテリー パックの充電の監視

ここでは、バッテリー パック内の電力の残量を判断する方法をいくつか説明します。

正確なバッテリー残量の表示

バッテリー残量が正確に表示されるようにするには、次のことに注意します。

- 通常の使用で完全充電時の 10 パーセント未満になるまでバッテリー パックを放電してから充電してください。
- バッテリー パックを充電するときは、完全に充電してください。
- バッテリー パックを1か月以上使用していなかった場合は、充電ではなくバッテリー ゲージの調整を行います。バッテリー ゲージの調整方法については、この章の「[バッテリー ゲージの調整](#)」を参照してください。

充電情報画面の表示

ここでは、充電情報画面を表示して情報を読む方法について説明します。

充電情報の表示

ノートブック コンピュータに装着したバッテリー パックの状態について情報を表示するには、次のどちらかの操作を行います。

- タスクバーにある[電源メーター]アイコンを選択します。
- [電源メーター]タブを表示します。[電源メーター]タブを表示するには、以下の手順で操作します。
 - Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]アイコン→[電源メーター]タブの順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコン→[電源メーター]タブの順に選択します。

充電情報の読み方

ほとんどの場合、充電情報には、バッテリーの状態がバッテリー残量のパーセントと残りの使用可能時間（分）で示されます。

- パーセントは、バッテリーパック内の電力の残量を示します。
- 時間は、現在のレベルでバッテリーパックの電力を使い続けた場合にバッテリーパックを使用できる推定残り時間を示します。たとえば、DVDの再生を開始すると残り時間が短くなり、停止すると残り時間が長くなります。

ほとんどの充電情報では、バッテリーパックが位置番号で示されます。

- #1はメインバッテリーベイです。
- #2はマルチベイです。

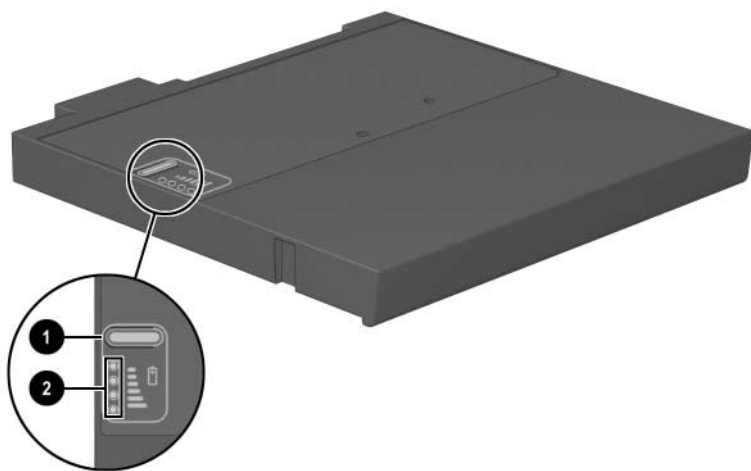
充電情報によっては、画面上のバッテリーパックの位置表示の隣に稲妻のマークが表示されます。このマークは、その位置のバッテリーパックが充電中であることを示します。

マルチベイ バッテリーパックでの充電情報の表示

バッテリーのクイックチェック機能を使用すると、マルチベイに装着しなくてもバッテリーパックの残量の割合を表示することができます。マルチベイバッテリーパックにはバッテリーのクイックチェック機能がありますが、メインバッテリーパックにはありません。

マルチベイバッテリーパックの残量の割合を表示するには、マルチベイバッテリーパックのバッテリーチェックボタン①を押します。

バッテリークイックチェックランプ②によって、バッテリーパックの残量が示されます。残量が多いほど、クイックチェックボタンを押したときに多くのランプが点灯します。すべてのランプが点灯しているときは、バッテリーパックの残量が非常に多いことを示します。ランプがひとつだけ点灯または点滅しているときは、バッテリーを充電する必要があります。



ローバッテリー状態の対処

ローバッテリー状態の警告とシステム応答の設定は、オペレーティングシステムの[電源オプション]ウィンドウで変更できます。ここでは、出荷時設定の警告およびシステム応答について説明します。[電源オプション]ウィンドウでの設定は、ランプの状態には影響しません。

ローバッテリー状態の識別

ここでは、ローバッテリーおよび完全なローバッテリーの状態を判断する方法について説明します。

ローバッテリー状態

ノートブック コンピュータの電源としてバッテリーパックのみを使用しているときに、バッテリーパックがローバッテリー状態になると、バッテリーランプが点滅します。

完全なローバッテリー状態

ローバッテリー状態を解決しないと、完全なローバッテリー状態に入ります。完全なローバッテリー状態になると、システムは次のように応答します。

- ハイバネーションが有効で、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、ハイバネーションが起動します。
- ハイバネーションが無効で、ノートブック コンピュータの電源が入っているかスタンバイ状態のときは、短い時間スタンバイ状態になってから、システムが終了します。このとき、保存していない情報は失われます。

ハイバネーションが有効になっていることを確認するには、[休止状態] タブの[休止状態をサポートする]チェックボックスがオンになっていることを確かめます。[休止状態]タブを表示するには、以下の手順で操作します。

- Windows 2000をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択します。[電源オプション]アイコンをダブルクリックします。
- Windows XPをお使いの場合 : [スタート]→[コントロールパネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコンの順に選択します。

ローバッテリー状態の解決



注意: ノートブック コンピュータが完全なローバッテリー状態になり、ハイバネーションが起動した場合は、電源/スタンバイランプが消灯するまで電源を入れしないでください。

外部電源が利用できる場合

外部電源が利用できる場合にローバッテリー状態を解決するには、以下の操作のどちらかを行います。

- ACアダプタを外部電源に接続します。
- 別売のカーアダプタ/チャージャをノートブック コンピュータと自動車のシガー ライタ ソケットに接続します。

充電済みのバッテリーパックが利用できる場合

充電済みのバッテリーパックが利用できる場合にローバッテリー状態を解決するには、ノートブック コンピュータの電源を切るかハイバネーションを起動し、充電済みのバッテリーパックを装着してから、コンピュータの電源を入れます。

電源が利用できない場合

電源が利用できない場合にローバッテリー状態を解決するには、ハイバネーションを起動するか、または作業中のファイルを保存し、システムを終了します。

ハイバネーションを終了できない場合

ハイバネーションを終了するための電力がノートブック コンピュータに残っていない場合にローバッテリー状態を解決するには、以下の手順で操作します。

1. 充電済みのバッテリーパックを装着するか、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
2. 電源ボタンを短く押して、ハイバネーションを終了します。

バッテリー ゲージの調整

ここでは、バッテリー ゲージを調整するタイミングと調整方法について説明します。

バッテリー ゲージの調整が必要な時

バッテリーパックを頻繁に使用している場合でも、1か月に2回以上調整を行う必要はありません。また、新しいバッテリーパックを初めて使用する前にバッテリーゲージを調整する必要はありません。次の場合は、バッテリーゲージの調整が必要です。

- バッテリー充電情報の表示が不正確な場合
- バッテリーの通常の動作時間が極端に変化した場合
- バッテリーパックを1か月以上使用していない場合

バッテリー ゲージの調整方法

バッテリーゲージを調整するには、バッテリーパックを完全に充電し、完全に放電してから、再び完全に充電します。

バッテリー パックの充電

バッテリー パックは、ノートブック コンピュータの電源が入っているかどうかにかかわらず充電できますが、電源を切ったときの方が充電が早く完了します。

バッテリー パックを充電するには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータにバッテリー パックを装着します。
2. ノートブック コンピュータをACコンセントまたは別売のカー アダプタ/チャージャに接続します。コンピュータのバッテリー ランプが点灯します。
3. バッテリー パックが完全に充電されるまで、ノートブック コンピュータを外部電源に接続しておきます。充電が完了すると、コンピュータのバッテリー ランプが消灯します。

バッテリー パックの放電

バッテリー パックを完全に放電する前に、ハイバネーションを無効にします。ハイバネーションを無効にするには、以下の手順で操作します。

1. [電源オプション]ウィンドウを開きます。
 - ❑ Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
2. [休止状態をサポートする]（または[休止状態を有効にする]）チェック ボックスをオフにします。

バッテリー パックの放電中は、ノートブック コンピュータの電源を入れたままにする必要があります。バッテリー パックは、コンピュータを使用しているかどうかにかかわらず放電できますが、使用している方が放電が早く完了します。

- 放電中にノートブック コンピュータを放置しておく場合は、放電を始める前に作業中のファイルを保存してください。
- 放電中にノートブック コンピュータを使用する予定で、省電力設定を利用していた場合、放電処理中はシステムの動作が次のようになります。
 - モニタが自動的にオフになりません。
 - ノートブック コンピュータがアイドル状態のときでも、ハードドライブの速度が自動的に下がりません。
 - システムによるスタンバイの起動が実行されません。

バッテリー パックを完全に放電するには、以下の手順で操作します。

1. タスクバーの[バッテリー メーター]アイコンを選択するか、[電源設定]タブを表示します。
 - Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]アイコン→[電源設定]タブの順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]アイコン→[電源オプション]アイコン→[電源設定]タブの順に選択します。
2. バッテリー ゲージ調整後に設定を元に戻せるように、[電源に接続]列の2つの設定と[バッテリー使用]列の2つの設定をメモに取っておきます。
3. ドロップダウンリストで、これら4つのオプション（各列に2つ）をすべて[なし]に設定します。
4. [OK]ボタンを選択します。
5. ノートブック コンピュータを外部電源から切断します。ただし、コンピュータの電源は切らないでください。
6. バッテリー パックが完全に放電するまで、バッテリー電源でノートブック コンピュータを動作させます。バッテリー パックがローバッテリー状態まで放電すると、バッテリー ランプが点滅し始めます。バッテリー パックが完全に放電すると、バッテリー ランプが消灯して、コンピュータの電源が切れます。

バッテリーパックの再充電

1. ノートブック コンピュータを外部電源に接続して、バッテリーパックが完全に再充電されるまで接続したままにします。充電が完了すると、コンピュータのバッテリー ランプが消灯します。
バッテリーパックの再充電中でもノートブック コンピュータは使用できますが、電源を切っておく方が充電が早く完了します。
2. ノートブック コンピュータの電源を切っていた場合は、バッテリーパックが完全に充電されてバッテリー ランプが消灯した後で、コンピュータの電源を入れます。
3. **[電源設定]**タブを表示します。
 - ❑ Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源の管理]アイコン→[電源設定]タブの順に選択します。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコン→[電源設定]タブの順に選択します。
4. **[電源に接続]**列と**[バッテリー使用]**列の項目を、記録しておいた設定に戻します。
5. **[OK]**ボタンを選択します。



注意：バッテリー ゲージの調整後はハイバネーションを再び有効にしてください。ハイバネーションを有効にしないと、完全になくなるまでバッテリー電力を消費し続けてデータが失われる恐れがあります。

- Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。[休止状態をサポートする]チェック ボックスをオンにします。
 - Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。[休止状態を有効にする]チェック ボックスをオンにします。
-

バッテリー節電の方法と設定

以下に示すバッテリー節電方法および設定に従うと、1回の充電でノートブック コンピュータを動作させる時間を長くすることができます。

作業中の節電

ノートブック コンピュータの使用時に節電するには、次の操作を行います。

- ネットワークに接続する必要がないときは無線接続とローカル エリア ネットワーク (LAN) 接続をオフにして、モデムを使用するアプリケーションを使用後すぐに終了します。
- 外部電源に接続されておらず、使用していない外付けデバイスを取り外します。
- 使用していないPCカードを停止するか取り外します。詳しくは、第8章の「[PCカードの使用](#)」を参照してください。
- 使用していないCDやDVDを取り出します。
- 必要に応じて画面の輝度を調節するには、**[fn]+[f9]**および**[fn]+[f10]**ホットキーを使用します。
- 内蔵スピーカの代わりに、別売の電源付きスピーカを使用します。または、音量ボタンを使用してシステム警告音の音量を調節します。
- Sビデオ コネクタに接続しているデバイスをオフにするときは、**[fn]+[f4]**ホットキーを使用するか、WindowsでSビデオ デバイスのサポートをオフにします。
- フロッピーディスクをフォーマットするときは、ノートブック コンピュータを外部電源に接続します。
- しばらく作業を行わないときは、スタンバイまたはハイバネーションを起動するか、ノートブック コンピュータの電源を切ります。

節電の設定

ノートブック コンピュータの節電を設定するには、以下の手順で操作します。

- スクリーンセーバが起動するまでの時間を短くし、グラフィックスおよび動きの少ないスクリーンセーバを選択します。スクリーンセーバの設定画面を表示するには、次の操作を行います。
 - Windows 2000をお使いの場合：[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]→[画面]→[スクリーンセーバー]タブの順に選択します。
 - Windows XPをお使いの場合：[スタート]→[コントロールパネル]→[デスクトップの表示とテーマ]→[画面]アイコン→[スクリーンセーバー]タブの順に選択します。
- オペレーティングシステムの[電源設定]で、電力の使用量が少ない設定を選択します。Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェアガイド』の「電源」を参照してください。
- [Intel SpeedStep] (Windows 2000のみ) で、[バッテリーに合わせたパフォーマンス]または[バッテリーの最長寿命]を選択します。Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェアガイド』の「電源」を参照してください。

バッテリー パックの保管

2週間以上ノートブック コンピュータを使用せず、外部電源から切り離しておく場合は、すべてのバッテリー パックを取り出して別々に保管します。



注意: バッテリー パックの損傷を防ぐため、長期間にわたって高温の場所に放置しないでください。

高温の場所にバッテリー パックを保管すると、自然放電の速度が速まります。保管中にバッテリー パックが放電するのを抑えるには、バッテリー パックを気温や湿度の低い場所に保管します。

バッテリー パックを安全に保管できる期間については、次の表を参考にしてください。ここに示す保管期間は、バッテリー パックが50パーセント充電されている場合の期間です。完全に充電されている場合は、安全に保管できる期間はこれよりも長くなります。また、電力の残量が少ない場合は、これよりも短くなります。

1か月以上保管したバッテリー パックを使用するときは、最初にバッテリー ゲージの調整を行ってください。

温度の範囲	安全に保管できる期間
46~60°C	1か月未満
26~45°C	3か月以下
0~25°C	1年

使用済みのバッテリー パックの処理



警告: 化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリー パックをつぶしたり、穴を開けたり、接点をショートさせたりすることは絶対におやめください。また、60℃より高温の環境に放置したり、水や火の中に捨てたりしないでください。

使用済みのバッテリー パックは、家庭用ごみとして捨てないでください。

バッテリー パックの使用上の注意と廃棄の方法について、および各国の規定に関する情報の全文は、Documentation Library CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』に記載されています。

電源に関する詳細情報の参照先

スタンバイとハイバネーション、節電、電源の設定、およびその他の電源管理機能の使用方法について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「電源」を参照してください。

ドライブの取り扱い上の注意

ドライブは、ノートブック コンピュータ コンポーネントの中でも繊細なコンポーネントです。そのため、注意して取り扱う必要があります。次に示すのは、すべてのドライブに適用される注意事項です。特定の手順に関する注意事項は、操作手順の説明に含まれています。



注意: ノートブック コンピュータやドライブが損傷したりデータが失われたりすることを防ぐために、次の点に注意してください。

- ドライブは、落としたり、衝撃を与えないように慎重に取り扱ってください。
- ドライブを取り付けるときには、無理な力を加えないでください。差し込む力が強すぎると、コネクタが壊れる恐れがあります。
- 洗剤などの液体をドライブに垂らしたり、高温の場所にドライブを放置したりしないでください。
- 修理または交換を行うとき以外は、メインハードドライブ（ハードドライブベイ内のハードドライブ）を取り外さないでください。
- 静電気によって電子部品が損傷する可能性があります。静電気の放電によってノートブック コンピュータやドライブが損傷することを防ぐために、以下の予防措置をとってください。
 - ドライブに触れる前に、アースされた金属面に触るなどして、身体にたまった静電気を放電してください。
 - ドライブのコネクタに触れないようにしてください。
 - 静電気対策について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。
- 磁気を発する装置にドライブやフロッピーディスクを近づけないようにしてください。磁気を発するセキュリティ装置には、空港の金属探知器や金属探知棒が含まれます。空港の機内持ち込み手荷物をベルトコンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ドライブやフロッピーディスクには影響しません。
- ドライブを郵便や宅配便で送付する場合は、衝撃、振動、および高温多湿の環境からドライブを保護するように緩衝材で包み、しっかりと梱包して「コワレモノー取り扱い注意」などのラベルを貼ってください。



空港の機内持ち込み手荷物をベルトコンベア上でチェックするセキュリティ装置は、磁気ではなくX線を使ってチェックを行うので、ハードドライブには影響しません。

システムへのドライブの追加

リムーバブルドライブを使うと、データを保存したり、データにアクセスしたりできます。

- 標準的なドライブの場合は、ノートブックコンピュータのマルチベイまたは別売のアドバンスポートリプリケータにドライブを取り付けることでシステムに追加できます。
- フロッピーディスクドライブを取り付けることもできます。
- USBドライブを追加するには、ノートブックコンピュータまたは別売のポートリプリケータのUSBコネクタに接続します。

USBドライブの接続については、このガイドの「[外付けデバイス](#)」を参照してください。

お使いのノートブックコンピュータには、以下の2つのドライブベイがあります。

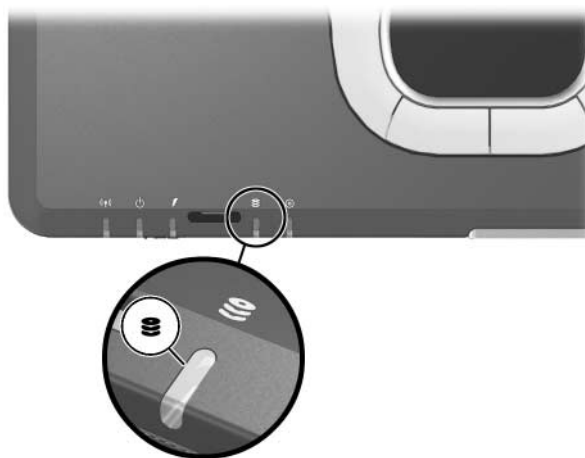
- ハードドライブ専用のハードドライブベイ:ハードドライブベイのハードドライブは、メインハードドライブになります。
- マルチベイ:次のデバイスを含む、任意のマルチベイデバイスがサポートされます。
 - ハードドライブ (マルチベイハードドライブアダプタが必要)
 - CDドライブまたはCD-RWドライブ
 - DVD、DVD/CD-RW、またはDVD-RW
 - フロッピーディスクドライブ
 - マルチベイバッテリー

ハードドライブ

ここでは、ノートブック コンピュータのメインハードドライブについて説明します。

ハードドライブ動作ランプについて

メインハードドライブにアクセスしているときは、ハードドライブ動作ランプが点灯します。



メインハードドライブの交換

ハードドライブ ベイのハードドライブはメインハードドライブになります。必ず先にノートブック コンピュータをシャットダウンしてください。




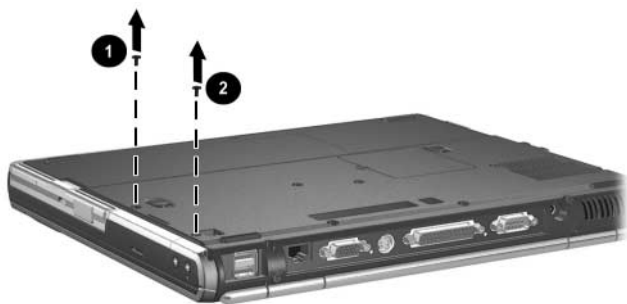
注意：システムのロックやデータの損失を防ぐため、以下の注意を守ってください。

- ハードドライブ ベイからハードドライブを取り外す前に、ノートブック コンピュータの電源を切ってください。コンピュータの電源が入っているときや、スタンバイまたはハイバネーションの状態のときには、ハードドライブを取り外さないでください。
 - ノートブック コンピュータの電源がハイバネーション状態かどうか分からない場合は、まず電源ボタンを押してコンピュータの電源を入れ、次にオペレーティング システムからコンピュータの電源を切ります。
-

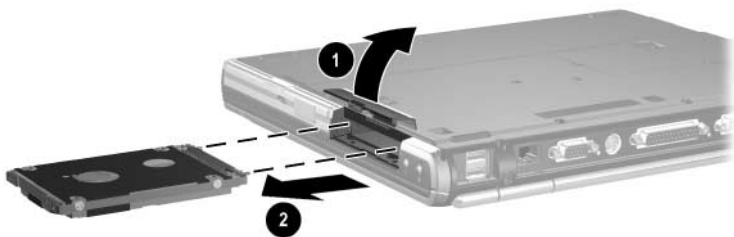
メインハードドライブを取り外すには、以下の手順で操作します。

1. 必要なデータを保存します。
2. ノートブック コンピュータの電源を切り、ディスプレイを閉じます。
3. コンピュータを裏返します。
4. ハードドライブ保護ネジ①を取り外します。
5. ハードドライブ固定ネジ②を取り外します。

 ハードドライブを取り外した後、取り付けなおさない場合は、ハードドライブ保護ネジおよびハードドライブ固定ネジを安全な場所に保管しておきます。

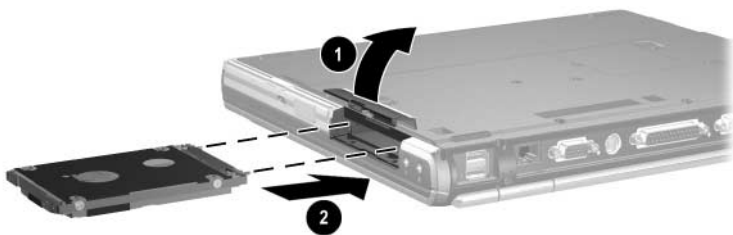


6. ハードドライブを取り出すには、ハードドライブ カバーを持ち上げて①、ハードドライブをベイの外へ引き出します②。

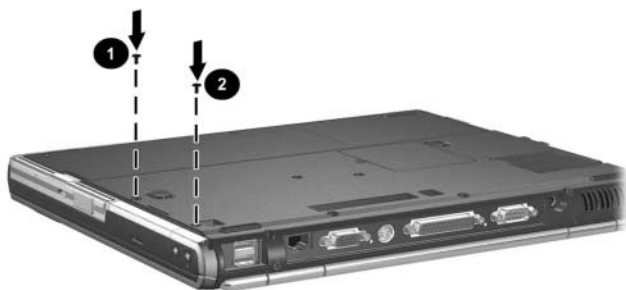


ハードドライブを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. ハードドライブ カバーを持ち上げます**①**。
2. ハードドライブが所定の位置に固定されるまで、ドライブをスライドさせてベイに差し込みます**②**。



3. ハードドライブ保護ネジ**①**およびハードドライブ固定ネジ**②**を取り付けなおします。



マルチベイ ドライブ

ここでは、ノートブック コンピュータのマルチベイ内のドライブの使用
方法について説明します。

マルチベイ動作ランプについて

マルチベイ動作ランプは、マルチベイ バッテリ パック以外のどの種類の
マルチベイ デバイスが動作している場合にも点灯します。



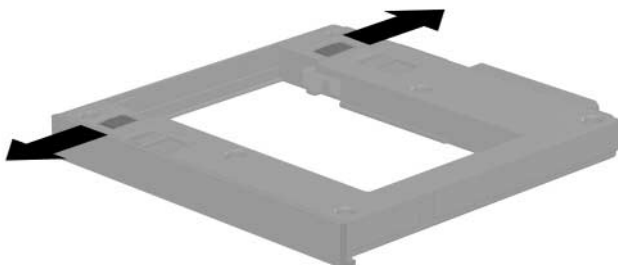
マルチベイ ハードドライブ アダプタの使用

ハードドライブをマルチベイで使用するには、別売のマルチベイ ハード
ドライブ アダプタに装着する必要があります。

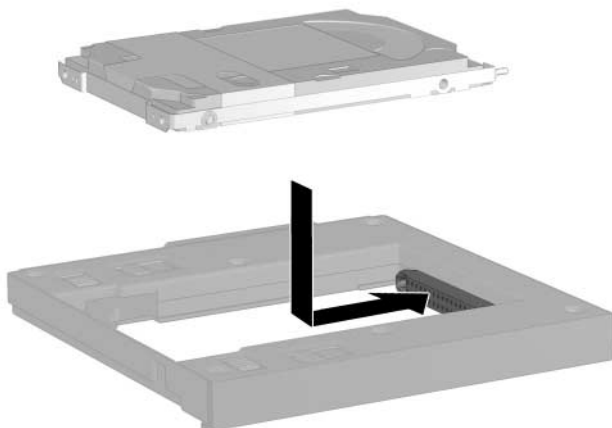
ハードドライブ アセンブリ (ハードドライブを装着したマルチベイ アダ
プタ) は、他のマルチベイ デバイスと同じように着脱ができます。

アダプタへのハードドライブの取り付け

1. 2つのアダプタ選択スイッチを外側にスライドさせます。



2. ハードドライブをアダプタに挿入し、ドライブのドライブ コネクタがアダプタのドライブ コネクタにかみ合っただライブが固定されるまで押し込みます。

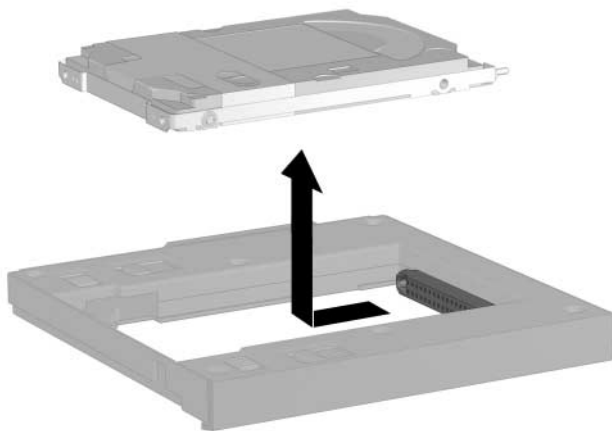


アダプタからのハードドライブの取り外し

1. 下の図のように、アダプタのリリース ラッチを外側にスライドさせます。



2. ドライブをスライドさせてドライブコネクタからそっと取り外し、ドライブを取り出します。



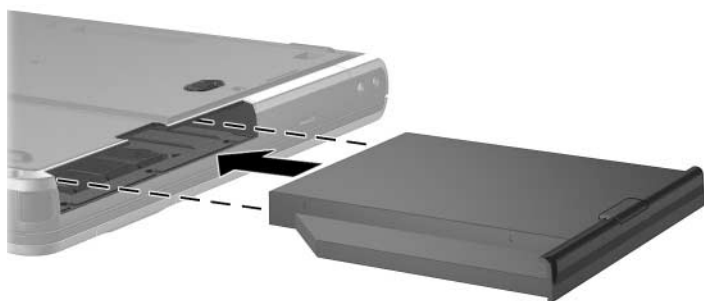
マルチベイへのドライブの挿入



マルチベイにハードドライブを挿入する前に、この章で説明した手順に従って、ドライブをマルチベイ ハードドライブ アダプタに装着します。

ノートブック コンピュータを裏返します。

コネクタ部を奥にして、ドライブまたはドライブ アセンブリをマルチベイに差し込み、コネクタがかみ合うまで押し込みます。



マルチベイからのドライブの取り外し



注意：システムのロックやデータの損失を防ぐため、ドライブを停止してから取り外します。ドライブを停止するには、以下の操作を行います。

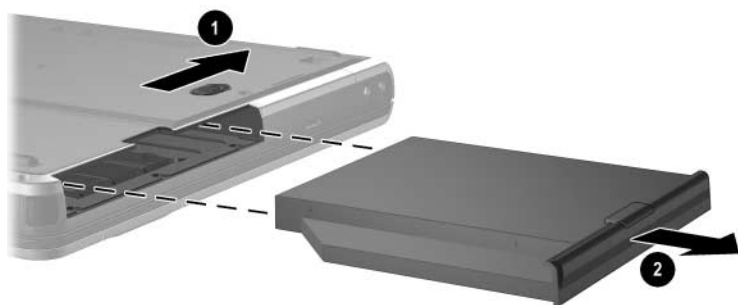
- Windows 2000をお使いの場合：タスクバーの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを選択し、取り出したいドライブを選択します。ドライブを安全に取り出す準備が完了すると、メッセージが表示されます。
 - Windows XPをお使いの場合：タスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択し、取り出したいドライブを選択します。ドライブを安全に取り出す準備が完了すると、メッセージが表示されます（タスクバーのアイコンを表示するには、システムトレイの[隠れているインジケータを表示します]アイコンを選択します）。
-



注意：マルチベイにデバイスが装着されていないときにマルチベイの開口部を保護するには、ウェイトセーバをマルチベイに取り付けます。これにより、ノートブックコンピュータの重量を増やすことなくマルチベイへの損傷を防ぐことができます。

1. ドライブにメディアトレイが装着されている場合は、ディスクを取り外してからトレイを閉じます。
2. 前述の「注意」に従ってドライブを停止します。
3. ノートブックコンピュータを裏返します。

4. マルチベイ リリース ラッチをノートブック コンピュータの背面に向かってスライドさせます**①**。
5. ドライブまたはドライブ アセンブリをマルチベイから取り出します**②**。

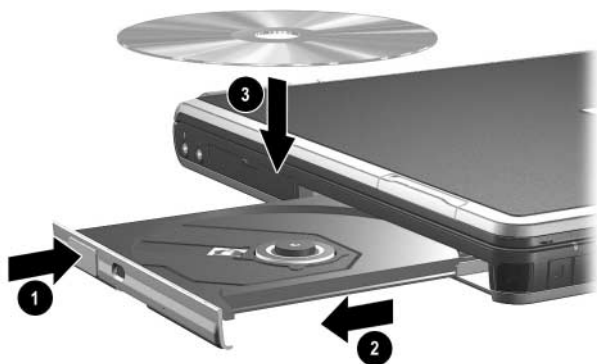


マルチベイ ドライブ メディア

ここでは、オプティカルディスク（CD-ROMやDVDなど）およびフロッピーディスクをマルチベイで使用方法について説明します。

オプティカル ディスクの挿入

1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタンを押して①、メディアトレイを押し出します。
3. 完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。CDまたは片面DVDを、ラベルを上にしてトレイに置きます。
4. ディスクをそっと下に押して③、トレイの回転軸にはめ込みます。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディアトレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて回転軸の上に置き、押しはめ込みます。
5. メディアトレイを閉じます。

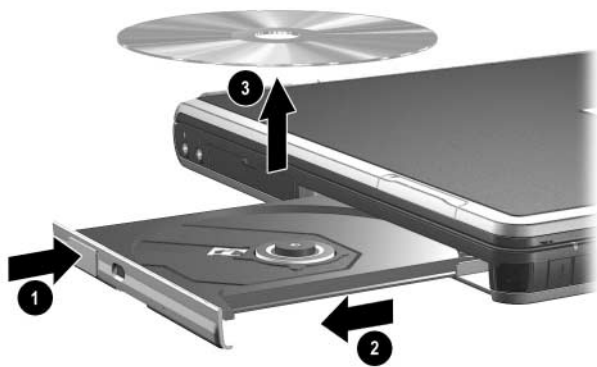


DVDの挿入後、自動実行機能によってDVDおよびWinDVD Playerが起動されるまでに少し時間がかかりますが、これは通常の動作です。

オプティカル ディスクの取り出し（電源使用時）

電源使用時には、以下の手順で操作します。

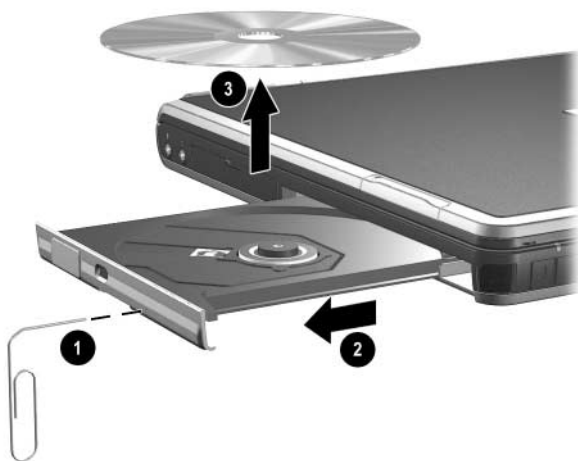
1. ノートブック コンピュータの電源を入れます。
2. ドライブのフロント パネルにあるリリース ボタンを押して①、メディアトレイが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します③。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディアトレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。
4. メディアトレイを閉じて、ディスクを保護ケースに入れます。



オプティカル ディスクの取り出し（電源切断時）

電源を利用できないときは、以下の手順で操作します。

1. ドライブのフロント パネルにあるリリース アクセスにクリップの端を差し込みます①。
2. クリップをそっと押して、メディア トレイが少し押し出された状態になったら、完全に開くまでトレイをゆっくりと引き出します②。
3. 回転軸をそっと押しながらディスクの端を持ち上げて、トレイからディスクを取り出します③。ディスクを扱うときは、表面ではなく端を持ってください。メディア トレイが完全に開かない場合は、ディスクを傾けて取り出します。ディスクを保護するために、保護ケースに入れます。
4. メディア トレイを閉じます。



フロッピーディスクの挿入

フロッピーディスクをフロッピーディスク ドライブに挿入するには、ラベルを上にしてフロッピーディスクをドライブに入れ、カチッと音がするまでゆっくりと押し込みます。

ディスクが正しく挿入されると、イジェクト ボタンが押し出されます。

フロッピーディスクの取り出し

フロッピーディスク ドライブからフロッピーディスクを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. ドライブのイジェクト ボタンを押します。フロッピーディスクが押し出されます。
2. フロッピーディスクをドライブから取り出します。

オプティカル ディスクの内容の表示

オプティカル ディスクをドライブに挿入すると、自動実行機能が有効な場合には、ディスクの内容が画面に表示されます。

自動実行機能が有効にされていないときは、次の方法でディスクの内容を表示します。

1. [スタート]→[ファイル名を指定して実行]の順に選択し、次のように入力します。
X:
Xは、メディアの挿入されているドライブです。
2. [enter]キーを押します。

光学ディスク ソフトウェアの参照先

お使いのノートブック コンピュータには、CDおよびDVDを再生するためのソフトウェアがプリロードされていますが、プリインストールはされていません。ソフトウェアを使用する前に、インストールする必要があります。詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェア ガイド』の「光学ドライブ ソフトウェア」を参照してください。



CDの作成およびコピーを行うには、一部のノートブック コンピュータモデルに含まれている、Roxio Easy CD & DVD Creator 6などの追加ソフトウェアが必要です。

スタンバイまたはハイバネーションの起動

ドライブ メディア（フロッピーディスク、CD、CD-RW、DVDなど）を使用中に、誤ってスタンバイまたはハイバネーションを起動した場合、次のことが発生します。

- 再生が中断される場合があります。
- [コンピュータが休止またはスタンバイ状態になると、再生は停止します。再生を再開するには、[再生]をクリックします。コンテンツは最初から再生されます。続行しますか?]という警告が表示される場合があります。[いいえ]を選択します。

電源ボタンを押して、ハイバネーションまたはスタンバイを終了します。オーディオまたはビデオが再開されるか、ドライブ メディアを再起動する必要があります。

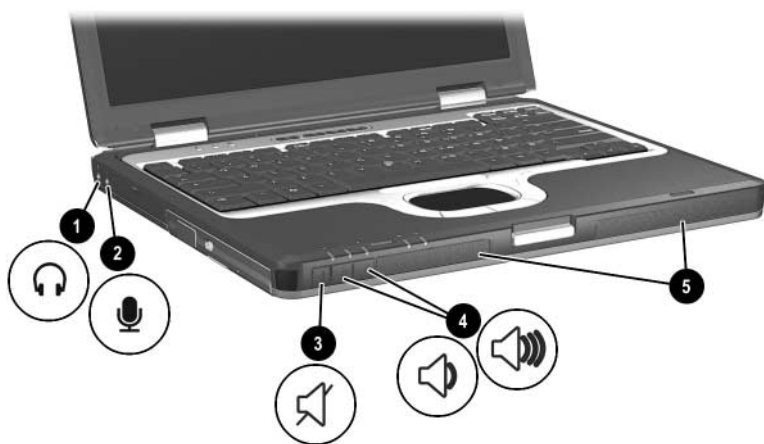


注意: ビデオの劣化およびオーディオやビデオの再生機能の損失を防ぐため、メディアを再生しているときにスタンバイまたはハイバネーションを起動しないでください。

オーディオとビデオ

オーディオ機能の使用

お使いのノートブック コンピュータには、次ページの表に示すオーディオ コンポーネントが含まれています。



オーディオ コンポーネント

番号	名称	機能
①	オーディオ ラインアウト コネクタ	別売の電源付きステレオ スピーカ、ヘッドフォン、 ヘッドセット、テレビ オーディオなどを接続しま す
②	マイク コネクタ	別売のモノラル マイクを接続します
③	ミュート ボタン	システムの音量を消音（ミュート）します

オーディオ コンポーネント (続き)

番号	名称	機能
④	音量調節ボタン (×2)	システム警告音の音量を調整します。音量上げボタンを押すと音量が上がり、音量下げボタンを押すと音量が下がります
⑤	スピーカ (×2)	システムのサウンドを出力します

オーディオ ラインアウト コネクタの使用



警告: 突然大きな音が出て耳を痛めることがないように、音量の調整を行ってからヘッドフォンやヘッドセットを使用してください。



注意: 外付け機器の損傷を防ぐため、モノラル コネクタをオーディオラインアウト コネクタに接続しないでください。

オーディオ ラインアウト コネクタは、テレビやビデオデッキなどのオーディオ/ビデオ機器のオーディオ機能を接続するためにも使用します。

オーディオ機器をオーディオ ラインアウト コネクタに接続する場合は、次のことに注意してください。

- 3.5 mmのステレオプラグのみを使用してください。
- 最高の音質を得るには、24~32 Ωのヘッドフォンを使用してください。
- 内蔵スピーカが無効になります。

マイク コネクタの使用

マイクをマイク コネクタに接続する場合、3.5 mm プラグのモノラル マイクを使用してください。電源付きのモノラル コンデンサ マイクの使用をお勧めします。

- ステレオ マイクを接続する場合、左チャンネルのサウンドが両方のチャンネルに録音されます。
- ダイナミック マイクを接続する場合、感度が不足して明瞭に録音できない可能性があります。

音量の調整

音量の調整は、次のどちらかを使用します。

- ノートブック コンピュータ本体の音量ボタン
 - 消音したり音量を元に戻したりするには、ミュート ボタンを押します。また、[-]ボタンと[+]ボタンを同時に押して、消音したり音量を元に戻したりすることもできます。
 - 音量を下げるには、音量下げボタンを押します。
 - 音量を上げるには、音量上げボタンを押します。
- Windowsの[ボリューム コントロール]
 - Windows 2000をお使いの場合：Windowsの[ボリューム コントロール]アイコンはタスクバーに表示されています。
 - Windows XPをお使いの場合：
 - a. [スタート]→[コントロール パネル]→[サウンド、音声、およびオーディオ デバイス]→[サウンドとオーディオ デバイス]の順に選択します。
 - b. [音量]タブを選択します。
 - c. [タスクバーに音量アイコンを配置する]チェック ボックスをオンにします。
 - d. [OK]ボタンを選択します。



ソフトウェアによっては、音量調節機能を持つものもあります。

ビデオ機能の使用

ノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタには、テレビ、ビデオデッキ、ビデオカメラ、プロジェクタ、オーバーヘッドプロジェクタ (OHP)、ビデオキャプチャカードなどの別売のSビデオ機器を接続できます。

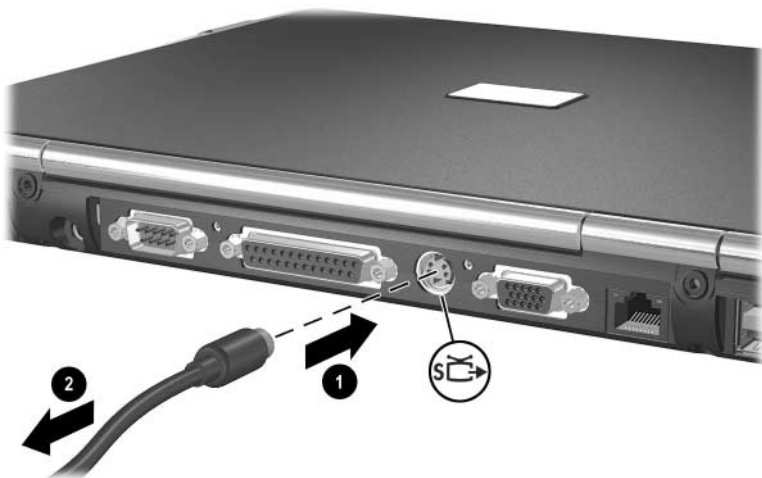
ノートブック コンピュータのSビデオ出力コネクタには、1台のSビデオ機器を接続できます。その際、画面をコンピュータのディスプレイと外部ディスプレイに同時に表示できます。通常、Sビデオ接続では、コンポジットビデオ接続よりも高い画質が得られます。

ビデオ信号をSビデオ出力コネクタ経由で送信するには、一般の電化製品販売店で入手可能なSビデオケーブルが必要です。別売のマルチベイドライブに挿入したDVDの動画をテレビで再生するなど、オーディオ機能とビデオ機能を組み合わせる場合は、一般の電化製品販売店で入手可能な標準のオーディオケーブルが必要です。

Sビデオ コネクタの使用

ビデオ機器をSビデオ コネクタに接続するには、以下の手順で操作します。

1. Sビデオ ケーブルの一端をノートブック コンピュータのSビデオ コネクタに接続します❶。
2. ビデオ機器に付属の説明書の指示に従って、ケーブルのもう一方の端をビデオ機器に接続します❷。



ノートブック コンピュータにアドバンスポート リプリケータを装着しているためコンピュータのSビデオ コネクタが使用できない場合は、アドバンスポート リプリケータのSビデオ コネクタに機器を接続できます。

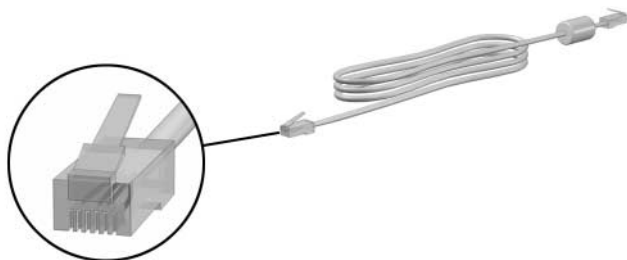
モデム ケーブルの接続

6ピンのRJ-11コネクタが両端に付いたモデム ケーブルをアナログ電話回線に接続してください。国によっては、各国仕様のモデム アダプタを使用します。デジタルPBXシステム用のコネクタは、アナログ電話回線用のモジュラ コンセントと似ていますが、このモデムには使用できません。



警告：ノートブック コンピュータをデジタル回線に接続すると、モデムが損傷して永久に使用できなくなる場合があります。間違ってモデム ケーブルをデジタル回線に接続した場合は、すぐに取り外してください。

モデム ケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コアが付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をコンピュータ側に向けます。



RJ-11回線用ケーブルの使用

RJ-11回線用ケーブルを接続するには、以下の手順で操作します。

1. モデムケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-11電話コネクタに差し込みます**①**。



警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、電話線をRJ-45ネットワークコネクタに接続しないでください。

2. モデムケーブルを電話回線用モジュラ コンセントに接続します**②**。



モデムの使用方法またはATコマンドやダイヤル設定コマンドの使用方法について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『モデムおよびネットワーク接続ガイド』または『モデム コマンドに関するガイドライン（上級者向け）』を参照してください。

各国仕様のモデム アダプタ ケーブルの使用

モジュラ コンセントは国により異なります。モデムおよびRJ-11 回線用ケーブルを国外で使用する場合は、各国仕様のモデムアダプタを用意する必要があります。国外でノートブック コンピュータを使用する方法について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『モデムおよびネットワーク接続ガイド』を参照してください。

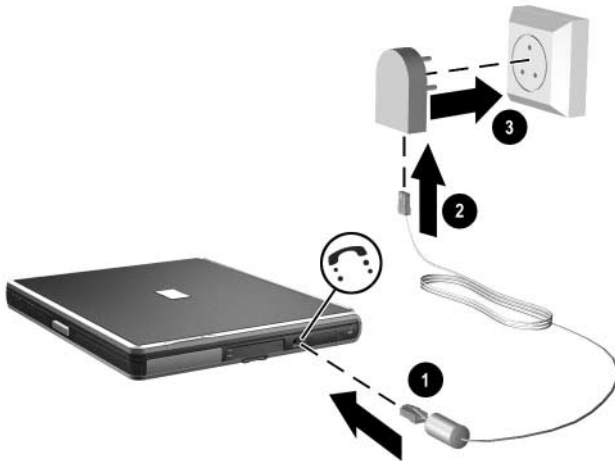
RJ-11 電話コネクタ以外のアナログ電話回線用モジュラ コンセントにケーブルを接続する場合は、以下の手順で操作します。

1. モデム ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-11電話コネクタに差し込みます❶。



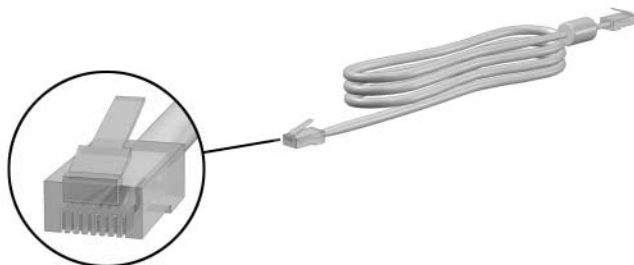
警告：火傷や感電、火災、装置の損傷を防ぐため、電話線をRJ-45 ネットワーク コネクタに接続しないでください。

2. モデム ケーブルを各国仕様のモデム アダプタに接続します❷。
3. 各国仕様のモデム アダプタを電話回線用モジュラ コンセントに接続します❸。



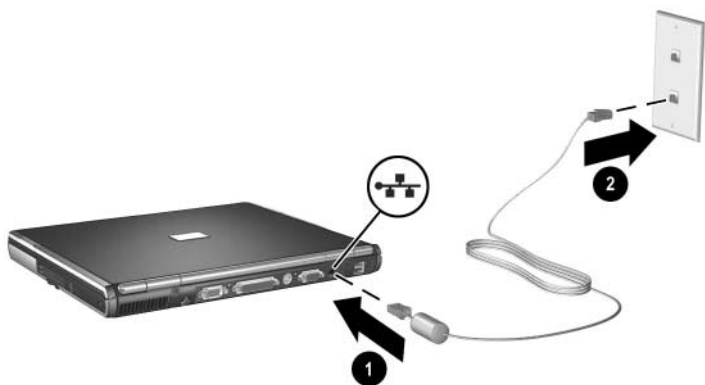
ネットワーク ケーブルの接続

ネットワーク ケーブルの両端には8ピンのRJ-45コネクタが付いています。ネットワーク ケーブルに、TVやラジオからの電波障害を防止するノイズ抑制コアが付いている場合は、コアが取り付けられているほうのケーブルの端をコンピュータ側に向けます。



ネットワーク ケーブルを接続する場合は、以下の手順で操作します。

1. ネットワーク ケーブルをノートブック コンピュータ本体のRJ-45ネットワーク コネクタに差し込みます**①**。
2. ケーブルのもう一方の端をネットワーク コネクタに差し込みます**②**。



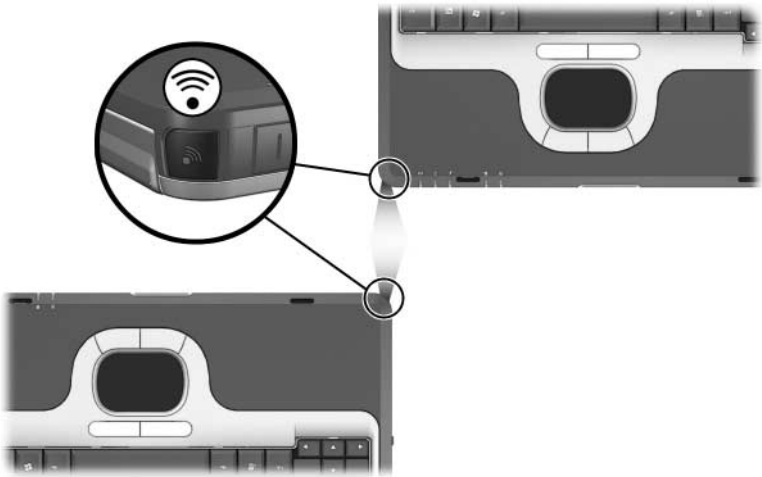
3. ノートブック コンピュータを起動または再起動します。
4. ネットワークに接続します。

赤外線装置の接続

ノートブック コンピュータはIrDAに準拠しているため（標準4 Mbps）、IrDAに準拠した他の赤外線装置との通信が可能です。

赤外線ポートは、最大115 Kbpsまでの低速通信および4 Mbpsまでの高速通信をサポートします。赤外線通信のパフォーマンスは、赤外線装置の性能、赤外線装置間の距離、および使用するアプリケーションによって異なります。

赤外線信号は、目に見えない赤外線ビームを介して通信されるので、赤外線装置間に障害物を置かないでください。



赤外線転送の設定

赤外線ソフトウェアの設定方法については、オペレーティング システムのヘルプ ファイルを参照してください。

赤外線装置の転送を最適化するには、以下に注意します。

- 両方の装置の赤外線ポートを、転送可能な状態にします。
- 赤外線ポートが1メートル以内の距離で向かい合うように装置を設置します。
- 通信しようとしている装置の赤外線ポートから相手のポートへの方向の角度が30°以上（中心線から±15°）ずれないようにします。
- 直射日光、フラッシュ、蛍光灯などが赤外線ポートに直接あたらないようにします。
- ワイヤレス ヘッドフォンやオーディオ機器のリモコンなどを赤外線ポートに向けないようにします。
- データ転送中に装置を動かしたり、ビームをさえぎるような物を置いたり、動作を行ったりしないようにします。

赤外線転送中のスタンバイの使用

赤外線転送を行うときは、スタンバイは使用できません。お使いのノートブック コンピュータがスタンバイ状態の場合は、赤外線転送は開始されません。赤外線転送中にスタンバイが開始されると、転送は停止します。スタンバイから復帰するには、電源ボタンを押します。コンピュータがスタンバイから復帰すると、転送が再開されます。ただし、スタンバイが開始されたときに赤外線転送を使用していたプログラムは、停止した時点から続行されないことがあります。たとえば、プログラムで印刷が行われていたときにスタンバイが開始された場合、コンピュータがスタンバイから復帰したときに、そのプログラムの転送は再開されますが、印刷ジョブは再開されません。

外付けデバイス

このガイドで説明する各コネクタには、標準の外付けデバイスを接続できます。

- 使用するコネクタについては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
 - ドライバなど、デバイスの動作に必要なソフトウェアのインストールやロードについては、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。
1. ノートブック コンピュータの電源を切ります。
 2. 外部電力を使用するデバイスを接続する場合は、デバイスの電源を切ります。
 3. デバイスをノートブック コンピュータのコネクタに接続します。
 4. 外部電力を使用するデバイスを接続する場合は、デバイスの電源コードをアース付きコンセントに差し込みます。
 5. デバイスの電源を入れます。
 6. ノートブック コンピュータの電源を入れます。

標準の外付けデバイスをノートブック コンピュータから取り外すには、デバイスの電源を切り、次にコンピュータから取り外します。

モニタまたはプロジェクタの接続

外付けモニタまたはプロジェクタをノートブックコンピュータに接続するには、コンピュータの背面にある外付けモニタコネクタにモニタケーブルを差し込みます。



外付けモニタまたはプロジェクタを正しく接続しても画面が表示されない場合は、**[fn]+[f4]**ホットキーを押して、モニタに画面を切り替えます。

USBデバイスの使用

USB（ユニバーサルシリアルバス）は、USBキーボード、マウス、ドライブ、プリンタ、スキャナ、ハブなど、外付けデバイスをノートブックコンピュータに接続して使用できるハードウェアのインタフェースです。コンピュータには標準USBコネクタ①と、別売の外付けマルチベイを接続できる電源供給機能付きUSBコネクタ②があります。これらのUSBコネクタはUSB 2.0デバイスとUSB 1.1デバイスをサポートします。



USBハブは、ノートブックコンピュータまたは別売のポートリプリケータのUSBコネクタ、または他のUSBデバイスに接続できます。ハブはさまざまな数のUSBデバイスをサポートでき、システムに接続するUSBデバイスの数を増やすために使用します。外部電力を使用するハブは外部電力に接続する必要があります。外部電力を使用しないハブは、コンピュータのUSBコネクタまたは外部電力を使用するハブのポートに接続する必要があります。

USBデバイスは、対応するUSB以外のデバイスと同様に機能しますが、次の1点の例外があります。デフォルトでは、USBをサポートするオペレーティングシステムがノートブックコンピュータにインストールされない限り、USBデバイスは動作しません。

USBデバイスには、追加サポートソフトウェアを必要とするものがありますが、通常はデバイスに付属しています。追加サポートソフトウェアおよびそのインストール方法について詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。

USBレガシー サポートの有効化

次のような場合に、USBレガシー サポートを有効にする必要があります。

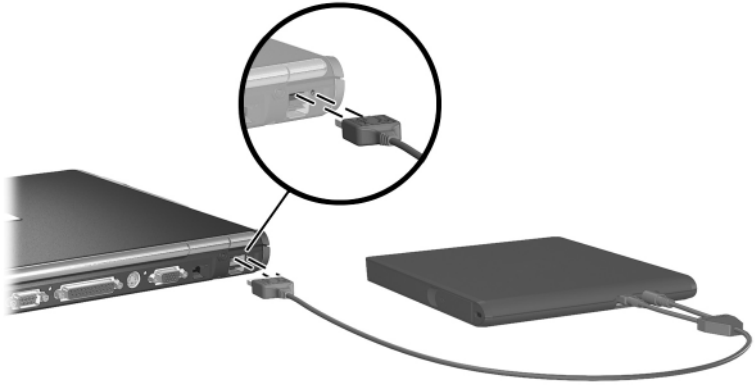
- ノートブック コンピュータの起動時、またはWindows以外のアプリケーションやユーティリティで、コンピュータのUSBコネクタに接続されたUSBキーボード、マウス、またはハブを使用する場合。
- 別売の外付けマルチベイから起動する場合。

USBレガシー サポートを有効にするには、以下の手順で操作します。

1. ノートブック コンピュータの電源を入れるか、再起動します。
2. 画面の左下隅に[F10=ROM Based Setup]メッセージが表示されている間に、[f10]キーを押します。
 - 表示言語を変更する場合は、[f2]キーを押します。
 - ヘルプを表示する場合は、[f1]キーを押します。
3. [Advanced] (詳細設定) メニュー→[Device Options] (デバイスオプション) の順に選択します。
4. [USB legacy support] (USBレガシーサポート機能) を[Enable] (有効) に設定します。
5. 設定を保存して[Computer Setup]を終了するには、[File] (ファイル) →[Save Changes and Exit] (設定を保存して終了) の順に選択し、画面の指示に従って操作します。

別売の外付けマルチベイの接続

外付けマルチベイをノートブックコンピュータに接続するには電源供給機能付きUSBコネクタを使用し、接続するとマルチベイ デバイスを使用できるようになります。外付けマルチベイについて詳しくは、デバイスに付属のマニュアルを参照してください。



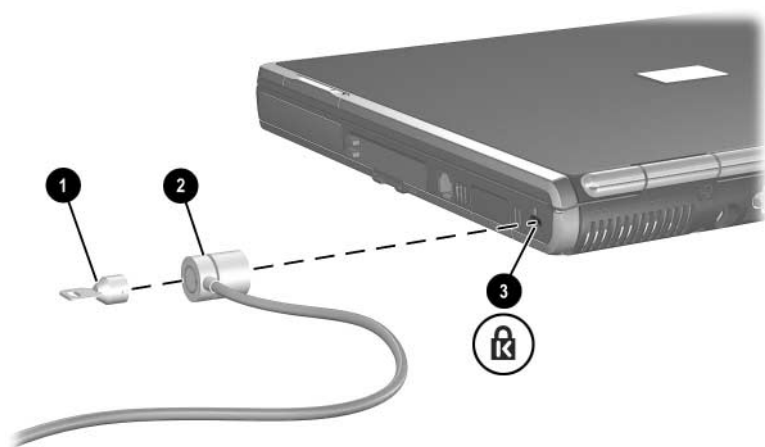
別売のケーブル ロックの接続



セキュリティ機能は、誤った取り扱いに対処することを目的としていますが、ノートブック コンピュータの盗難や誤った取り扱いを完全に防ぐものではありません。

セキュリティ ケーブルを取り付けるには、以下の手順で操作します。

1. 安定した固定物にセキュリティ ケーブルを巻き付けます。
2. ケーブルの鍵^①をケーブル ロック^②に差し込みます。
3. ケーブル ロック^②をセキュリティ ロック ケーブル用スロット^③に差し込みます。
4. ケーブルロックの鍵でロックします。



ハードウェアのアップグレード

ハードウェアのご購入およびアップグレードやアクセサリについて詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/jp/>) を参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください。

最新のソフトウェアやアップグレードの入手およびインストール方法については、Documentation Library CDに収録されている『ソフトウェアガイド』の「ソフトウェアの更新とリストア（復元）」を参照してください。

PCカードの使用

PCカードは、クレジットカードと同じくらいの大きさのデバイスで、PCMCIA (Personal Computer Memory Card International Association) の標準仕様に準拠しています。

- お使いのノートブック コンピュータは32ビット (CardBus) および16ビットのPCカードに対応しています。
- お使いのノートブック コンピュータにPCカード スロットが2基装備されている場合、コンピュータは2枚のType Iカード、2枚のType IIカード、または1枚のType IIIカードに対応しています。
- お使いのノートブック コンピュータに内蔵スマート カード リーダーが装備されている場合、PCカード スロットは1枚のType IまたはType IIのPCカードに対応しています。
- ズーム ビデオ用PCカードには対応していません。



注意:このPCカードソフトウェアを他社製のソフトウェアまたはインネブラで上書きしてしまった場合、他のPCカードが正常に動作しなくなる場合があります。PCカードに付属のマニュアルに専用のデバイス ドライバをインストールするように記載されている場合は、次のようにします。

- お使いのオペレーティング システム用のデバイス ドライバだけをインストールしてください。
 - PCカードの製造販売元が他のソフトウェア（カード サービス、ソケット サービス、インネブラなど）を提供していても、それらをインストールしないでください。
-

PCカードの挿入



注意:PCカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- PCカード スロットにPCカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
 - PCカードが挿入されているときは、ノートブック コンピュータを動かしたり移動したりしないでください。
-

1. PCカードのラベル側を上にし、コネクタをノートブック コンピュータ側に向けて持ちます。
2. カードがしっかりとハマるまで、スロットにゆっくりと押し込んで挿入します。オペレーティング システムによって音が鳴り、デバイスが検出されたことが示されます。



PCカードの取り出し



注意: データの損失やシステムが反応しなくなることを防ぐために、PCカードを取り出す前にPCカードを停止します。

1. PCカードを停止します。
 - ❑ Windows 2000をお使いの場合：タスクバーの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを選択し、取り出したいカードを停止します。カードを安全に取り出す準備が完了すると、メッセージが表示されます。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合：タスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択し、PCカードを選択します([ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、タスクバーの[隠れているインジケータを表示します]アイコンを選択します)。
2. 取り出すPCカードの隣にあるPCカード イジェクト ボタン①を押します。これでボタンが外側に出て、PCカードを取り出せるようになります。
3. PCカードを取り出すには、外側に出た PCカード イジェクト ボタン①を押します。
4. PCカードを持ち、ゆっくりと引き抜きます②。



装着されているPCカードは、使用されていなくても電力を消費します。節電するには、使用していないPCカードを取り出すか、停止します。

SDカードの使用

Secure Digital (SD) カードは切手くらいの大きさの記憶装置で、データを格納してそれをPDA、カメラ、その他のSD対応のPCなどのデバイス間で共有することができます。



SDカードの挿入



注意：SDカード コネクタの損傷を防ぐため、次の点に注意してください。

- SDカードスロットにSDカードを挿入するときには、無理な力を加えないでください。
 - SDカードが挿入されているときは、ノートブック コンピュータを動かしたり移動したりしないでください。
-

SDカードを挿入するには、以下の手順で操作します。

1. SDカードスロットにSDカードを挿入します。
2. カチッという音がするまでカードをしっかりとスロットに押し込みます。



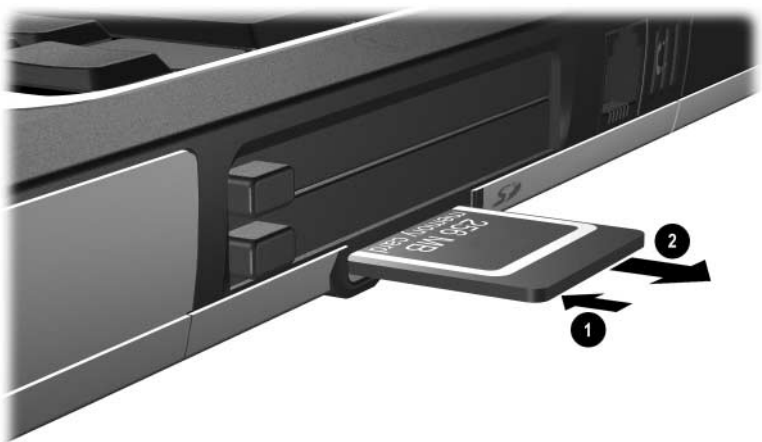
SDカードの取り出し



注意：データの損失やシステムのロックを防ぐために、SDカードを取り出す前に、カードを停止します。

SDカードを取り出すには、以下の手順で操作します。

1. SDカードを使用しているアプリケーションとファイルをすべて閉じます。
2. SDカードを停止します。
 - ❑ Windows 2000をお使いの場合：タスクバーの[ハードウェアの取り外しまたは取り出し]アイコンを選択し、取り出したいカードを停止します。カードを安全に取り出す準備が完了すると、メッセージが表示されます。
 - ❑ Windows XPをお使いの場合：タスクバーの[ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを選択し、SDカードを選択します([ハードウェアの安全な取り外し]アイコンを表示するには、タスクバーの[隠れているインジケータを表示します]アイコンを選択します)。
3. SDカードを静かに押して①、ロックを外します。
4. スロットからSDカードを引き抜きます②。



メモリ モジュールの追加とアップグレード



警告：ユーザがアクセスできるノートブック コンピュータの内部コンパートメントは、メモリ スロットだけです。その他のコンパートメントに対して作業を行う必要がある場合は、必ず弊社のサポート窓口にご依頼ください。

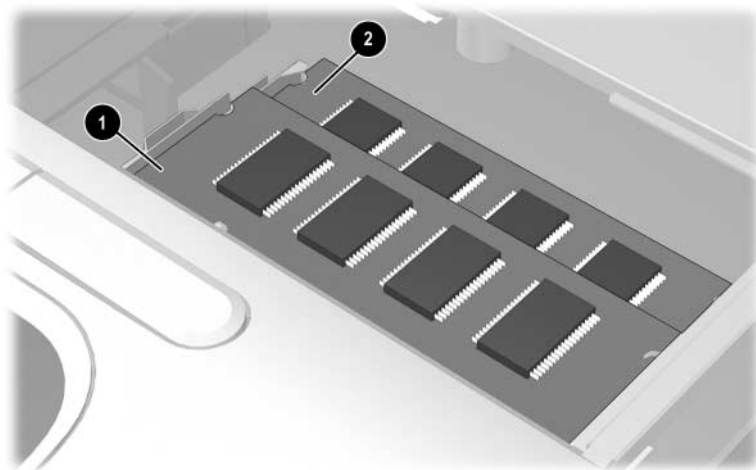


警告：感電や装置の損傷を防ぐため、メモリ拡張モジュールを取り付ける前に、電源コードとすべてのバッテリー パックをコンピュータから取り外してください。



注意：静電気 (ESD) によって電子部品が損傷することがあります。作業を始める前に、正しくアースして衣類などにたまった静電気を放電してください。静電気対策について詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

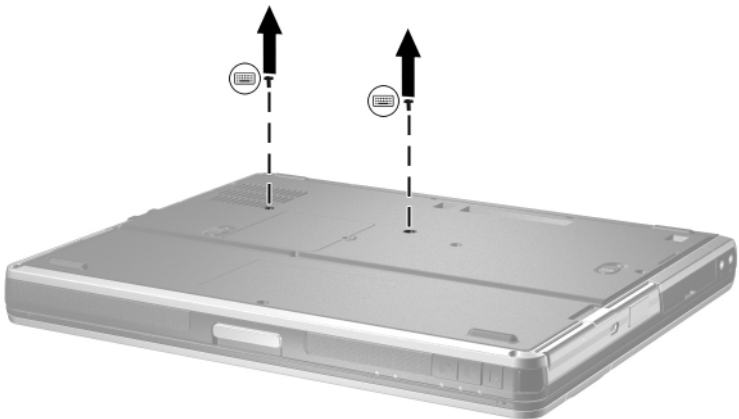
お使いのノートブック コンピュータには、キーボードの下に重なり合った2基のメモリ スロットが装備されています。メモリ拡張スロット①がメインメモリ スロット②の上にあります。メインメモリ スロットが下側にあり、工場出荷時にメモリが装着されています。



ノートブック コンピュータのメモリ容量をアップグレードするには、メモリ モジュールを拡張スロットに追加するか、メイン メモリ スロットに装着されているメモリ モジュールをアップグレードします。

メモリ モジュールを追加またはアップグレードするには、以下の手順で操作します。

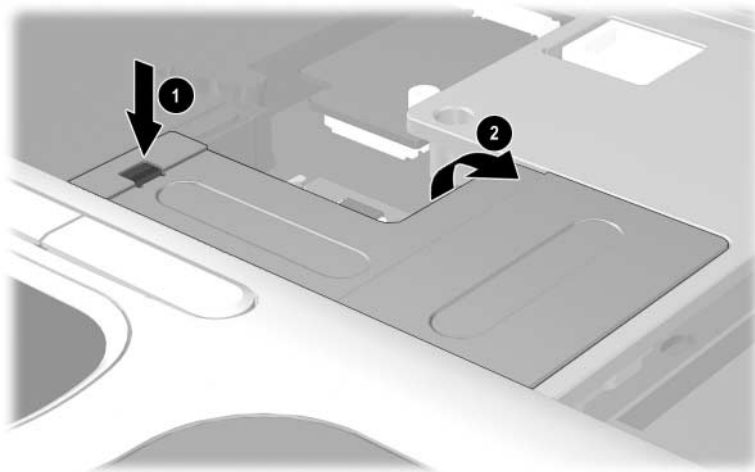
1. ノートブック コンピュータの電源を切ります (コンピュータの電源が切れているか、ハイバネーション状態なのか分からない場合は、電源ボタンを押していったんコンピュータの電源を入れてから、オペレーティング システムをシャットダウンしてください)。
2. ノートブック コンピュータに接続されているすべての外付けデバイスを外します。
3. 電源コードをノートブック コンピュータから取り外します。
4. すべてのバッテリー パックをノートブック コンピュータから取り外します。
5. ノートブック コンピュータの裏面から、2個のキーボード固定ネジを取り外します。どちらのキーボード固定ネジネジの横にも、キーボードのアイコンが記されています。



6. ノートブック コンピュータを開き、4つのキーボード ラッチを下にスライドさせて①キーボードを解放します。次にキーボードを傾けて②コンピュータから取り外します。



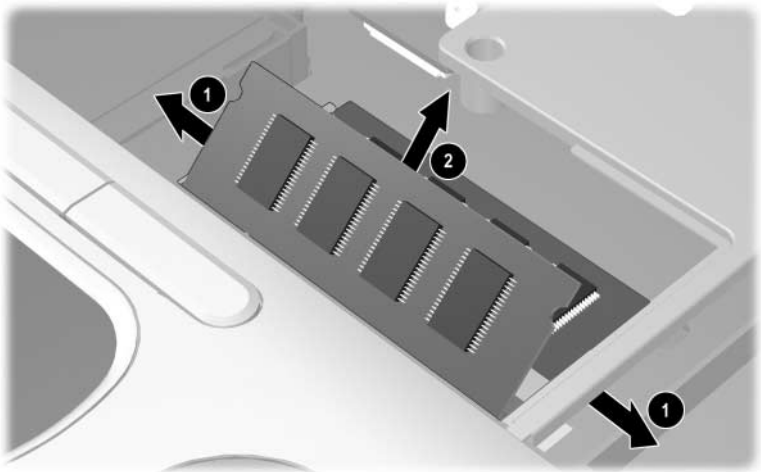
7. ラッチを押し込んで①メモリスロットのカバーを解放し②、持ち上げてノートブック コンピュータから取り外します。



メインメモリスロットに取り付けられているメモリを交換する場合は、まずメモリ拡張スロットに取り付けられているメモリをすべて取り外す必要があります。

メモリ拡張スロットにメモリを増設する場合は、手順9に進んでください。

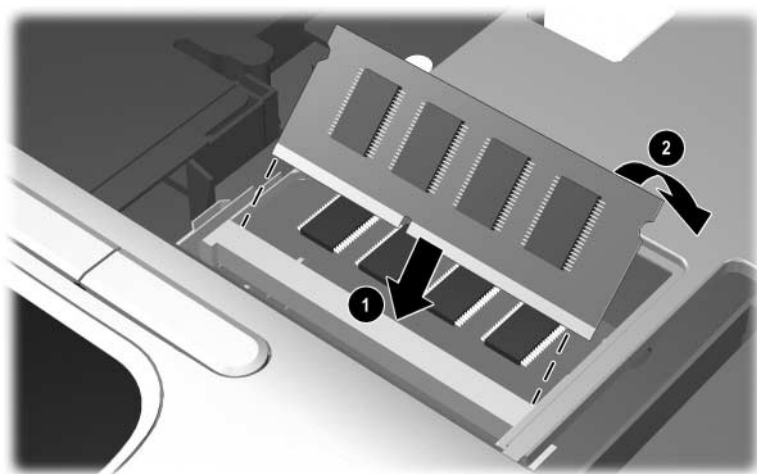
8. メモリ拡張スロットからメモリモジュールを取り外すには、以下の手順で操作します。
 - a. モジュールの両端の留め具を外側に引っ張ります①。モジュールが解放されると、少し上に出てきます。
 - b. メモリモジュールの端を持ち上げ②、ゆっくりとスロットから取り外します。



△ 注意：取り外したモジュールは、静電気の影響を受けない容器に保管しておきます。

必要に応じて手順8を繰り返し、メインメモリスロットからメモリモジュールを取り外します。

9. どちらかのメモリ スロットに新しいメモリ モジュールを取り付けるには、以下の手順で操作します。
 - a. モジュールの切り込みを、拡張スロットの切り込みの位置に合わせます**①**。
 - b. しっかりと固定されるまでモジュールを45° の角度でスロットに押し込み、所定の位置に収まるまでメモリ モジュールを押し下げます**②**。



10. メモリ スロットのカバーを取り付けなおします。
11. キーボードを取り付けなおして、4つのキーボードリリース ラッチを元の位置に戻します。
12. キーボード固定ネジをノートブック コンピュータの裏面に取り付けなおします。
13. バッテリー パックを装着しなおします。
14. 外部電源および外付けデバイスを接続しなおします。
15. ノートブック コンピュータを再起動します。

メモリ増設の影響

ランダム アクセス メモリ (RAM) を増設すると、ハイバネーション ファイルに必要なハードドライブ領域がオペレーティング システムによって拡張されます。

RAM を増設した後にハイバネーションに関する問題が発生した場合は、ハイバネーション ファイルの拡張に必要な空き領域がハードドライブに十分にあることを確認してください。

- システムに搭載されたRAMの容量を表示するには、以下の手順で操作します。
 - Windows 2000 をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[システム]→[全般]タブの順に選択します。
 - Windows XP をお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[システム]→[全般]タブの順に選択します。
 - Windows 2000 または Windows XP をお使いの場合 : [fn] + [esc] キーを押します。
- ハードドライブの空き領域を表示するには、デスクトップ上の[マイ コンピュータ]アイコンをダブルクリックして、ハードドライブを選択します。ドライブの容量についての情報が、ウィンドウの下部のステータス バーに表示されます。
- ハイバネーション ファイルに必要な容量を表示するには、以下の手順で操作します。
 - Windows 2000 をお使いの場合 : [スタート]→[設定]→[コントロール パネル]→[電源オプション]→[休止状態]タブの順に選択します。
 - Windows XP をお使いの場合 : [スタート]→[コントロール パネル]→[パフォーマンスとメンテナンス]→[電源オプション]アイコン→[休止状態]タブの順に選択します。

この章には、ノートブック コンピュータを国外で使用する場合、国外へ持ち運ぶ場合、または苛酷な環境で使用する場合に役に立つ情報を記載します。



ACアダプタおよびバッテリーパックは、ノートブック コンピュータに対応しているものを使用する必要があります。詳しくは、HPのWebサイト (<http://www.hp.com/jp>) を参照するか、またはサポート窓口にお問い合わせください。


ノートブック コンピュータの本体寸法

高さ	3.26 cm
幅	31.8 cm
奥行き	26.2 cm

作業環境

動作保証温度	
動作時	10~35°C
非動作時	-30~60°C
相対湿度（結露しないこと）	
動作時	10~90%
非動作時	5~95%
最大標高（非与圧）	
動作時	3,048 m
非動作時	9,144 m

定格入力電源

入力電源	定格
動作電圧	100～120/220～240 VAC RMS
動作電流	1.7/0.85 A RMS
動作周波数範囲	47～63 Hz AC
DC電源使用時	最大18.5 V
 この製品は、最低充電量240 Vms以下の相対電圧によるノルウェーのIT電源システム用に設計されています。	

モデムの仕様

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。詳しくは、Documentation Library CDに収録されている『規定および安全に関するご注意』を参照してください。

動作保証温度		
動作時	0～75°C	
非動作時	-40～75°C	
相対湿度（結露しないこと）		
動作時	10～90%	
非動作時	5～95%（39°Cの場合）	
インタフェース	通信コネクタ	標準RJ-11電話コネクタ
	電話、セントラル オフィス ネットワーク	内蔵DAA
電源	+3.3V±5%、+5V±5%	

索引

- A**
ACアダプタ
 接続 3-12
 切断 3-1
AC電源 3-1
- B**
Bluetooth 2-8
- C**
Caps Lockランプ 1-5
CD
 挿入 4-14
 取り出し 4-16
 内容の表示 4-17
CD-RW
 「CD」を参照
CDドライブ
 「ドライブ」も参照
 CDの取り出し 4-16
 サポートされる場所 4-3
 へのCDの挿入 4-14
 マルチベイへの挿入 4-11
[Computer Setup]
 USBレガシー サポート 7-4
 ヘルプ 7-4
- D**
DVD
 挿入 4-14
 取り出し 4-15, 4-16
 内容の表示 4-17
DVDドライブ
 「ドライブ」も参照
 DVDの挿入 4-14
 DVDの取り出し 4-15
 サポートされる場所 4-3
 マルチベイへの挿入 4-11
- E**
ESD (静電気) 4-2
- F**
[fn]キー 1-4, 2-4, 2-7, 2-9
- N**
Num Lock
 キー 2-10
 ランプ 1-5, 2-10
- P**
PCカード
 Type I、II、III 8-1
 イネーブラ、カード サービス、お
 よびソケット サービス 8-2
 スロット、選択 8-1
 ズーム ビデオ 8-1
 挿入 8-2
 停止 8-3
 取り出し 8-3
 ボタン 8-3
PCカードスロット 1-8
Presentation Mode Button 2-8
- Q**
Quick Launch Buttons 1-4, 2-8
- R**
RAMの増設 8-11
RAM (ランダム アクセス メモリ) 8-11

- RJ-11コネクタ 1-8
 RJ-45ネットワーク コネクタ 1-10
- S**
- Scroll Lockランプ 1-5
 SD (Secure Digital) カード 8-4, 8-5
 SD (Secure Digital) スロット 1-8
 Sビデオ
 ケーブルの接続 5-5
 コネクタ 1-10, 5-5
- U**
- USB
 コネクタ 1-10, 7-3
 デバイス 7-3, 7-4
 電源供給機能付きコネクタ 1-10
 ハブ 7-3
 レガシー サポート 7-4
- W**
- Windowsアプリケーション キー 1-4
 Windowsロゴ キー 1-4
- あ**
- アダプタ、モデム 6-3
 アナログ回線とデジタル回線 6-1
 アプリケーション キー 1-4
 イネーブラ、PCカード 8-2
 ウェイトセーブ 4-12
 オーディオ機器、外付け機器の接続 5-2
 オーディオラインアウト コネクタ 1-7, 5-1, 5-2
 オーバーヘッドプロジェクト
 画面の切り替え 7-2
 接続 7-1
 外付けモニタ コネクタ 1-10
 ディスプレイの切り替え 2-5
 オプティカルディスク
 挿入 4-14
 取り出し 4-15
 温度
 動作時 9-1
 保管、バッテリー パック 3-19
 音量調節 5-2, 5-3
- 音量調節ボタン 1-9
- か**
- カー アダプタ/チャージャ
 サポートするタスク 3-6
 接続 3-12
 カード サービスとソケット サービス、
 PCカード 8-2
 各国仕様のモデム アダプタ 6-3
 環境に関する仕様 9-1
 完全なローバッテリー状態
 からの復帰 3-13
 識別 3-11
- キー
- [fn] 1-4, 2-4, 2-7, 2-10
 [num lock] 2-10
 Windowsロゴ 1-4
 アプリケーション 1-4
 ショートカット 2-4, 2-7
 内蔵テンキー 2-10
 ファンクション 1-4, 2-7
 ホットキー 2-4, 2-7
- キーボード
 USB 7-3
 外付け 2-7
- 規定に関する情報
 『規定および安全に関するご注意』 9-2
- 吸気孔 1-12
 空港のセキュリティ装置 4-2
 ケーブル
 セキュリティ 7-6
 ネットワーク 6-4
 モデム 6-1, 6-2
 ケーブルロック 7-6
 コネクタ
 AC電源 1-10
 RJ-11 1-8, 6-1
 RJ-45 1-10
 Sビデオ出力 5-4
 USB 1-10
 オーディオラインアウト 5-1, 5-2
 外付けマルチベイ 1-10
 外付けモニタ 1-10

- ドッキング 1-12
 ドライブ 4-2
 マイク入力 1-7, 5-1, 5-2
 コンポーネントの位置
 ポインティング デバイス (タッチ
 パッド搭載モデル) 1-1
 ポインティング デバイス (デュア
 ル ポインティング スティック/
 デュアル タッチパッド) 1-2
- さ**
 作業環境の仕様 9-1
 システム情報 2-5, 2-7
 湿度の仕様 9-1
 周辺機器、接続と取り外し 7-1
 ショートカット キー
 外付けキーボードでの
 定義 2-4
 仕様、ノートブック コンピュータ 9-1
 充電の順序 3-7
 スタンバイ
 完全なローバッテリー状態 3-11
 終了 1-3, 2-5
 赤外線の使用 6-6
 ホットキーによる起動 2-5
 ランプ 1-5
 スピーカ 1-9
 スピーカ、外付け
 オーディオ ラインアウト コネクタ 5-1
 接続 5-2
 スピーカ、内蔵
 位置 5-2
 スリープ
 「スタンバイ」を参照
 スロット
 SDカード 8-4
 メイン メモリ 1-4
 メモリ 8-9
 寸法、ノートブック コンピュータ 9-1
 静電気 (ESD) 4-2
 赤外線 6-5, 6-6
 セキュリティ機能 7-6
 セキュリティ ロック ケーブル用ス
 ロット 1-8
- ソケット サービス、PCカード 8-2
 外付けテンキー 2-11
 外付けデバイス 7-1
 外付けデバイスの接続 7-1
 外付けフロッピーディスク ドライブ
 ベイ 4-3
 外付けマウス 2-3
 外付けマルチベイ コネクタ 1-10
 外付けモニター
 表示画面の切り替え 2-6
 外付けモニター コネクタ 1-10
 ソフトウェア
 SpeedStep (Windows 2000) 3-18
 [電源メーター] (Windows) 3-8
 モデム 3-17
- た**
 タッチパッド
 位置 2-1
 操作 2-2
 ボタン 2-1
 調整、バッテリー ゲージ 3-13
 通気孔 1-12
 テレビ
 Sビデオ コネクタ 1-10, 5-5
 オーディオの接続 5-4
 画面の切り替え 2-5
 ビデオの接続 5-5
 テンキー 2-10
 外付け 2-11
 内蔵 2-9
 有効/無効 2-10
 ディスク
 内容の表示 4-17
 ディスプレイ
 画面の切り替え 2-5, 2-6, 7-2
 リリース ラッチ 1-4, 1-9
 デバイス ドライバ
 PCカード 8-2
 外付けデバイス 7-1
 電源
 「バッテリー電源」も参照
 ACとバッテリーの切り替え 3-1
 定格入力 9-2
 電源供給機能付きUSB 1-10

- 電源コネクタ 1-10
- 電源/スタンバイ ランプ 1-5
- 電源ボタン 1-3
- [電源メーター] (Windows) 3-8
- 電話 (RJ-11) コネクタ
- 位置 1-8
 - モデム ケーブル 6-1, 6-2
- ドッキング コネクタ 1-12
- ドライブ
- ウェイト セーブとの交換 4-12
 - 空港のセキュリティによる影響 4-2
 - 送付 4-2
 - 追加 4-3
 - 取り扱い上の注意 4-1
- ドライブ メディア
- 空港のセキュリティによる影響 4-2
- な**
- 内蔵テンキー 2-10
- ネットワーク
- ケーブル 6-4
 - コネクタ 1-10
- ノイズ抑制コア 6-1, 6-4
- ノートブック コンピュータの持ち運び
- カー アダプタ/チャージャ 1-10, 3-12
 - 作業環境の仕様 9-1
 - ハードウェア コネクタの保護 8-4
 - バッテリー パックの温度に関する注意 3-19
- は**
- ハードドライブ
- 「ドライブ」も参照
 - 固定ネジ 4-7
 - サポートされる場所 4-3
 - ベイ 1-7
 - マルチベイとメイン 4-3
 - マルチベイへの挿入 4-11
- ハードドライブ ベイ デバイス 4-3
- 排気孔 1-11
- ハイバネーション
- 完全なローバッテリー状態 3-11
 - 起動 2-5
 - 終了 1-3, 3-12
 - ファイルに必要な容量 8-11
- ハブ、USB 7-3
- バッテリー充電情報の表示
- ホットキー 2-5, 2-7
- バッテリー スロット 1-8
- バッテリー電源
- 「バッテリー パック」も参照
 - 節電 3-17
 - ノートブック コンピュータの実行 3-1
 - ローバッテリー状態、識別 3-11
- バッテリーの充電情報の表示
- Windows 3-8
 - 正確な表示 3-8
 - 読み方 3-9
- バッテリー パック
- 「バッテリー電源」も参照
 - 処理 3-20
 - 充電 3-6
 - 充電の監視 3-8
 - バッテリー ゲージの調整 3-13
 - バッテリー ランプ 1-6
 - 放電の順序 3-7
 - 保管 3-1, 3-19
 - マルチベイ 3-2, 3-4, 4-12
 - メイン 3-3
 - リサイクル 3-20
- バッテリー ベイ
- サポートされるデバイス 3-2
 - バッテリー パックの装着 3-3
 - バッテリー パックの取り出し 3-3
- バッテリー、メイン
- ベイ 1-12
 - リリース ラッチ 1-12
- 標高の仕様 9-1
- 表示画面の切り替え 2-5, 7-2
- ビデオ機器
- Sビデオ コネクタ 1-10, 5-5
 - 画面の切り替え 2-5, 7-2

- ビデオデッキ
 オーディオの接続 5-4
 画面の切り替え 2-5, 7-2
 ビデオの接続 1-10, 5-4
 ファンクションキー 1-4, 2-4
 フロッピーディスク
 挿入 4-17
 取り出し 4-17
 内容の表示 4-17
 フロッピーディスク ドライブ
 「ドライブ」も参照
 サポートされる場所 4-3
 フロッピーディスクの挿入 4-17
 フロッピーディスクの取り出し 4-17
 マルチベイへの挿入 4-11
 プロジェクタ
 表示画面の切り替え 2-6
 プロジェクタ、接続 7-1
 ヘッドフォン 5-2
 ベイ
 「バッテリー ベイ」、「外付けフロッピーディスク ドライブ ベイ」、「ハードドライブ ベイ」、「マルチベイ」を参照
 放電の順序 3-7
 ホットキー
 コマンドへのショートカットリファレンス 2-5
 外付けキーボードでの定義 2-4
 表示画面の切り替え 2-6
 ボタン
 PCカード 8-3
 Presentation Mode Button 2-8
 Quick Launch Buttons 1-4, 2-8
 QuickLock 2-8
 Wireless On/Off Button 2-8
 音量調節 5-1
 タッチパッド 2-1
 電源 1-3
 ポインティング スティック 2-1
 ミュート 2-8, 5-1
 ポインティング スティック
 位置 2-1
 キャップ、交換 2-2
 操作 2-2
 ボタン 2-1
 ポインティング スティックのキャップの交換 2-2
 ポインティング デバイス機能 2-3
 ポート、赤外線 6-5
 ポートリプリケータ
 外付けデバイスの接続 2-3
 ドッキング コネクタ 1-12
 ま
 マイク コネクタ 1-7
 マイク入力コネクタ 5-1
 マウス、外付け 2-3
 マルチベイ
 サポートされるデバイス 3-2, 4-3
 ドライブの挿入 4-11
 バッテリー パックの装着 3-4
 バッテリー パックの取り出し 3-4
 マルチベイ、外付け 7-5
 マルチベイ デバイス スロット 1-7
 マルチベイ ハードドライブ、定義 4-3
 「ドライブ」、「ハードドライブ」も参照
 マルチベイ バッテリー パック 3-2
 「バッテリー パック」、「バッテリー電源」も参照
 ミュート ボタン 1-9, 5-1
 無線 (802.11およびBluetooth)
 Wireless On/Off Button 1-4, 2-8
 オン/オフ ランプ 1-5
 無線アンテナ 1-9
 メイン ハードドライブ、定義 4-3
 「ドライブ」、「ハードドライブ」も参照
 メイン バッテリー パック、定義 3-2
 「バッテリー パック」、「バッテリー電源」も参照
 メディア、ドライブ
 空港のセキュリティによる影響 4-2

- メモリ
 拡張コンパートメント 8-7
 メインスロット 8-6
 メモリ拡張ボードの追加 8-7
メモリ コンパートメント、メイン 1-4
- モデム
 各国仕様のアダプタ 6-3
 ケーブル 6-1, 6-2
 コネクタ 1-8
 仕様 9-2
- 『モデムおよびネットワーク接続ガイド』 6-2
- 『モデム コマンドに関するガイドライン (上級者向け)』 6-2
- モニタ、外付け
 コネクタ 1-10
 接続 7-1
 表示画面の切り替え 2-6
- や
- 有効化
 内蔵テンキー 2-10
- ユーティリティ
 「ソフトウェア」を参照
- ら
- ラッチ
 ディスプレイ リリース 1-9
 バッテリー リリース 1-12
- ランプ
 Caps Lock 1-5
 Num Lock 1-5, 2-9
 Scroll Lock 1-5
 電源/スタンバイ 1-5
 バッテリー 1-6
 無線オン/オフ 1-5
- リリース ラッチ
 ディスプレイ 1-9
 バッテリー 1-12
- ローバッテリー状態
 解決 3-12, 3-13
 識別 3-11
- ロック、セキュリティ ケーブル 7-6